

ISSN 1343-4837

土佐山田町埋蔵文化財発掘調査報告書 第20集

# 須江ツカアナ古墳

山田北部地区県営圃場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2002. 7

土佐山田町教育委員会

# 須江ツカアナ古墳

山田北部地区県営圃場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2002. 7

土佐山田町教育委員会





須江ツカアナ古墳出土遺物（須恵器）



須江ツカアナ古墳出土遺物（金属製品）

## 序 文

土佐山田町は物部川の西岸に広がる田園地帯を占めており、古くから文化の栄えた地域です。北部の山裾部から長岡台地上、さらには香長平野にかけて多数の遺跡の所在が確認されています。これらの遺跡は過去の人々の生活の証であり、過去から現在への無言のメッセージです。このメッセージの中には先人達の培ってきた英知が込められており、現代に生きる我々は、未来へ向けて共有の財産として遺跡を継承しなければなりません。

しかしながら自然多きこの土佐山田町にも開発の波は押し寄せています。各種の開発工事とともに農業基盤整備事業も重要な施策として推し進められており、その規模は拡大の一途であります。農業という基幹産業の発展には欠かせない事業ではありますが、広範囲におよぶため遺跡が含まれることが多く、その保存には努力がはらわれているところです。

今回の山田北部県営圃場整備事業においても多数の遺跡が工区内に所在しており、特に須江ツカアナ古墳の保存が困難であることから記録保存のための発掘調査を実施しました。調査の結果、県下でも有数の規模を誇る古墳であることが確認されました。

このような調査結果が、土佐の古代史の歴史像を具体的に提示できることを願ってやみません。本書の刊行にあたりましては、発掘調査及び整理作業等に際し色々とご指導、ご協力いただきました関係各位、ならびに関係機関には厚くお礼申し上げます。

平成14年7月

土佐山田町教育委員会

教育長 原 初 恵

## 目 次

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 第Ⅰ章 遺跡の位置と地理的・歴史的環境 ..... | 1  |
| 1. 地理的環境 .....            | 1  |
| 2. 歴史的環境 .....            | 3  |
| 第Ⅱ章 調査に至る経過と調査方法 .....    | 6  |
| 1. 調査に至る経過 .....          | 6  |
| 2. 調査の方法 .....            | 6  |
| 第Ⅲ章 遺構と遺物 .....           | 9  |
| 第Ⅳ章 総括 .....              | 25 |
| 附録 新改地区の古墳群 .....         | 26 |
| 遺物観察表 .....               | 16 |

## 挿図目次

|                              |    |
|------------------------------|----|
| 図1 土佐山田町位置図 .....            | 2  |
| 図2 周辺の遺跡分布図・表 .....          | 5  |
| 図3 須江ツカアナ古墳位置図 .....         | 7  |
| 図4 須江ツカアナ古墳現状図 .....         | 8  |
| 図5 発掘調査位置図 .....             | 10 |
| 図6 須江ツカアナ古墳平面図 .....         | 12 |
| 図7 須江ツカアナ古墳玄室平面図 .....       | 13 |
| 図8 須江ツカアナ古墳周溝セクション図 .....    | 13 |
| 図9 須江ツカアナ古墳SD-1遺物出土実測図 ..... | 14 |
| 図10 須江ツカアナ古墳出土遺物1 .....      | 19 |
| 図11 須江ツカアナ古墳出土遺物2 .....      | 20 |
| 図12 須江ツカアナ古墳出土遺物3 .....      | 21 |
| 図13 須江ツカアナ古墳出土遺物4 .....      | 22 |
| 図14 須江ツカアナ古墳出土遺物5 .....      | 23 |
| 図15 須江ツカアナ古墳出土遺物6 .....      | 24 |
| 図16 新改地区古墳石室実測図 .....        | 26 |

## 写真図版

|                      |  |
|----------------------|--|
| 巻頭図版 須江ツカアナ古墳周辺航空写真  |  |
| 須江ツカアナ古墳航空写真（西より）    |  |
| 須江ツカアナ古墳出土遺物（須恵器）    |  |
| 須江ツカアナ古墳出土遺物（金属製品）   |  |
| 参考写真 昭和40年頃の須江ツカアナ古墳 |  |
| 開田時の記念写真             |  |

- PL1 遺構検出状況(北東より)、(北西より)、(南より)、石室床面発掘状況(北より)、石室床面完掘状況(北西より)、(南より)
- PL2 石室床面完掘状況(南より)、石室床面と排水溝完掘状況(南より)、排水溝、ピット完掘状況(南より)、周溝底部集積状況(南西より)、周溝終点部完掘状況(北より)、周溝セクション(南より)、古墳南部柱穴跡(南東より)、土坑完掘状況(東より)
- PL3 古墳完掘状況全景(西より)、(真上より)
- PL4 遺物出土状況
- PL5 出土遺物(須恵器)
- PL6 出土遺物(須恵器)
- PL7 出土遺物(土師器、土師質土器、瓦器、須恵器)
- PL8 出土遺物(須恵器、金属製品)
- PL9 出土遺物(須恵器)
- PL10 出土遺物(須恵器)
- PL11 出土遺物(須恵器)
- PL12 出土遺物(瓦質土器、瓦器、瓦質土鍋)
- PL13 出土遺物(土師質土鍋、備前焼、土師質土器)

## 例言

1. 本書は、土佐山田町教育委員会が平成6年度に実施した山田北部地区県営圃場整備事業に伴う須江ツカアナ古墳の発掘調査報告書である。
2. 須江ツカアナ古墳は、高知県香美郡土佐山田町須江字五反地1049番地他(旧番地ツカアナ72番地他)に所在する。
3. 当該地の試掘調査は、発掘調査は、平成6年12月12日から平成7年1月13日、調査面積1,400m<sup>2</sup>である。引き続き資料整理を平成8年度に実施し、報告書作成を平成14年度に行った。
4. 調査体制は以下のとおりである。

調査主体 土佐山田町教育委員会

調査事務 土佐山田町教育委員会

平成6年度

教育長 門脇 昭

社会教育課長 前田隆明

調査事務 中山泰弘

調査担当 中山泰弘

平成8年度

教育長 門脇 昭

社会教育課長 前田 智

調査事務 中山泰弘

調査担当 中山泰弘

平成14年度

教育長 原 初恵

社会教育課長 山崎泰広

調査事務 小林麻由

調査担当 中山泰弘(現建設部計課主事)

5. 発掘調査にあたっては、地元新改地区の方々、土佐山田町文化財保護審議会、山田北部土地改良区、高知県南国耕地(現中央東耕地)事務所、高知県教育委員会、(財)高知県文化財団埋蔵文化財センターの協力を得た。また、現場発掘調査・遺物整理・図面作成作業にあたって、下記の方々の協力を得た。記して感謝の意を表したい。

現場作業員 大塚俊明、今井春恵、貞岡重道、佐野宣重、田村香代子、佐々木龍男、竹崎芳子、山本花子、山下厚子、井上郁雄、山崎政子、山本洋子、池知誠男、小松一仁、池 宣弘、吉川 竜、竹村絹子、伊藤 仁、川端清司、山岡弘明、山岡正明

整理作業員 伊藤 仁、中村千代、岡林 光、竹崎寛将、井上博恵、研川英征、高橋加奈、宗石祥一、風間俊秀(高知工科大学学生)、山口 正(高知工科大学学生)

6. 本書の執筆は、編集は中山が行なった。

7. 須江ツカアナ古墳の調査では、数多くの方々から、助言、御教示をいただいた。併せて深く謝意を表したい。森田尚宏(高知県教育委員会文化財課)、山本哲也(財団法人高知県埋蔵文化財センター)、出原惠三(同)、川端清司(同嘱託職員)、岡本桂典(高知県立歴史民俗資料館課長心得)、順不同、敬称略

8. 出土遺物及び調査資料については、土佐山田町教育委員会が保管している。尚、遺物についての注記は、「9-42YST」を使用する。

9. 遺構の名称については、SB(獨立柱建物)、ST(竪穴状遺構)、SK(土壤)、SD(溝状遺構)、SE(井戸)、SI(性格不明土壤)、P(柱穴又はピット)を使用する。

## 第Ⅰ章 遺跡の位置と地理的・歴史的環境

### 1. 地理的環境

土佐山田町は、高知県の中央東寄りに位置し、県下第3位の川である物部川の中流域に位置する。物部川により形成された沖積平野に県下最大の穀倉地帯である高知平野の北端に位置し、物部川の洪積台地及び四国山地の一部を含む。

この物部川は、県北東部の香美郡物部村、劍山山系の白駒山(1,770m)の東斜面に源流を発し、高知平野東部の同郡吉川村で土佐湾に注ぐ。上・中流域は仏像構造線に沿って直線的に西南西流しており、流路に沿った上流へのルートは古来阿波國への最短距離として知られている。物部川に沿う山間部には発達した河岸段丘が発達し<sup>①</sup>、土佐山田町で流路を南に変え南流する。土佐山田町神母の木付近において平野部に流入し、肥沃な高知平野を縱断する。

高知平野東部を成す香長平野は不整形の扇状地で物部川両岸には鏡野<sup>②</sup>、山田野<sup>③</sup>と言われる古期扇状地の砂礫層から成る洪積台地を形成している。この台地は長岡台地と称される。長岡台地は、香長平野の北部を土佐山田町から南国市にまたがり、北東から南西に約5km連なる。洪積世中期以降に形成された比較的連続性に富んだ砂礫台地で隆起性扇状地である。標高は扇頂部に近い土佐山田町付近では約50mに達し南西に緩やかに傾斜し、扇端部の南国市後免町付近では15m～10mである。台地面の北西側は国分川流域に扇状地性低地、南東側は物部川下流域の扇状地性低地に対して段丘面を持って接している。台地は河床から5m内外の標高を持ち、台地の間に新期扇状地が広がり、北端部は国分川の浸食により断崖を形成する。洪積台地には旧石器時代の遺跡は見えていないが物部川河岸段丘両岸の山麓部<sup>④</sup>、国分川水系である砥川の発生する山間部の山麓部<sup>⑤</sup>で確認されている。また縄文時代の遺跡も旧石器時代の遺跡とほぼ同じ位置に所在する<sup>⑥</sup>。新期扇状地から沖積平野にかけての大地には県下最大の遺跡群、田村遺跡群(弥生時代～近世)<sup>⑦</sup>を始め大篠遺跡(弥生時代)<sup>⑧</sup>が分布する。また、条里制地割の遺構が広く認められるが、旧物部川は洪水氾濫をたびたび繰り返しており、条里制地割りの乱れた地域も多く、旧流路も數本認められる。

土佐山田町の市街地が乗っている扇頂部分付近は周囲に比べて高位な面となり、南部に一段低い下位面があり、二段の段丘面となっている。中央部から末端部は低地性氾濫原に向かって緩やかに台地斜面が傾斜し、特に南西端は扇状地性低地の粗粒性沖積層に埋没しており湧水地帯となって小河川が流出し湿地帯を形成している。土壤は多湿黒ボク土壤であり、層の厚さは20cm～50cm以上で下層は灰色か灰褐色の場合が多い。台地面は自然の河流が無く江戸時代以前は開発が遅れていたが、江戸時代初期、土佐藩奉行野中兼山が物部川に山田堰を築き、灌漑水路を設けたことによって台地面にも導水が行なわれた。開発には、郷士が登用され、台地上には旧郷士屋敷が散在し、散村的景観を呈している。また、後免・土佐山田・野市の在郷町もこの時期に形成されたものである。灌漑用水により、かつては米の二期作が盛んであり、現在も高知平野の水田地帯の一部であるが、乾田であるため、古来、葉タバコ・野菜の栽培も盛んである。近年はビニールハウスの施設園芸も増加してきている。町域面積の70%を森林地帯で占め、林業が盛んで良材を多く産出する。工業は、地場産業の打刃物などがある。扇頂部の土佐山田町は物部川上流部と香長平野の接点に立地した谷口集落でもある。台地面はかつて開発の主体となつた郷士屋敷の点在する散村形態がみられ、現在もその景観の名残がみられる。台地面の長軸(北東～南西方向)にはほぼ沿う方向でJR土讃本線及び国道195号線が直線的に通過している。東にある三宝山の中腹には国指定史跡及び天然記念物である龍河洞があり、県下でも有数の観光地となっている。

### 註

- (1)『南国市史』 上巻 南国市教育委員会 1979
- (2)『野市町史』 上巻 野市町教育委員会 1992

- (3)『土佐山田町史』土佐山田町教育委員会 1979
- (4)佐野楠目山からは石核、剥片などが表面採集されている。
- (5)新改西谷遺跡からはナイフ型石器が多量に出土している。
- (6)新改闢キ丸遺跡、林田シタノジ遺跡、刈谷我野遺跡などがあげられる。
- (7)『田村遺跡群 高知空港拡張整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』第1分冊～第15分冊 1986 高知県  
教育委員会
- (8)註(1)と同じ

#### 参考文献

- 『土佐山田町史』土佐山田町教育委員会 1979
- 『角川 日本地名大辞典 39高知県』角川書店 1986



図1 土佐山田町位置図

## 2. 歴史的環境

土佐山田町は、地理的に恵まれ、県下最大の穀倉地帯である香長平野の一画に位置することから原始以来、人々との営みを台地に刻み付けている。また、南に隣接する南国市とともに県下屈指の遺跡密集地帯である。

土佐山田町の歴史は、北部山麓部の西谷遺跡<sup>(1)</sup>の調査により旧石器時代後期に始まる。二次堆積遺物ではあるがチャート製のナイフ型石器が多量に出土し、遺跡の立地など奥谷南遺跡<sup>(2)</sup>と非常に似ている。続く、縄文時代では、新改川の河岸段丘に立地する開キ丸遺跡<sup>(3)</sup>より早期押型文土器が出土し、また新改川支流の砥川左岸の小山田遺跡<sup>(4)</sup>からは、晩期の土器4基と突尖文土器が出土し、北部山間部に所在する飼古屋岩陰遺跡<sup>(5)</sup>からは早期押型文土器、厚手無文の葛島式土器、中期の船元II式土器、後期の彦崎KII式土器とともに多量のサヌカイト製の石鏃が出土している。また、東部物部川左岸の段丘上、林田シタノヂ遺跡<sup>(6)</sup>が存在するが、ここでは、ピット状遺構から後期初頭の中津式土器が出土している。

弥生時代では前期に属する遺跡の確認には至っておらず、今のところ中期後半に位置づけられる龍河洞洞穴遺跡<sup>(7)</sup>が最古である。この遺跡は全山石灰岩でできた三宝山(322m)の中腹に開口した洞穴遺跡で、昭和8年に遺跡の部分が発見され、翌9年に天然記念物及び史跡として国指定を受けている。洞内の生活面は3室からなり、出土遺物は凹線文の発達した龍河洞式土器をはじめ、鉄鏃、石錐、有孔鹿角製品、貝輪、骨製管玉、瑪瑙製勾玉等の装身具、貝類、獸骨類の自然遺物などである。また、龍河洞式土器に混在してただ一点、弥生時代後期末のヒビノキI式土器が出土している。龍河洞洞穴遺跡と同時期とみられる遺跡に、子岳遺跡<sup>(8)</sup>、雪ヶ峰遺跡<sup>(9)</sup>、影山遺跡<sup>(10)</sup>がある。中期後半に属する遺跡は多く原遺跡<sup>(11)</sup>、原南遺跡<sup>(12)</sup>からは堅穴住居跡とともに環濠と思われる溝や掘立柱建物跡等集落を構成する遺構も発見されている。その北部台地上には、弥生時代後半～古墳時代初頭の土器群が出土したひびのき遺跡<sup>(13)</sup>が存在する。これらの土器群はヒビノキI～ヒビノキIII式土器と命名され、高知県中央部以東の標準式土器とされていると同時に、同遺跡がその時期に集落遺跡として栄えたことを示している。弥生時代も後期になると遺跡数、規模の拡大がみられ、特に同遺跡に代表されるよう後期後半に属する遺跡の急増が認められる。隣接するひびのきサウジ遺跡<sup>(14)</sup>では、弥生時代後期後半の堅穴住居跡が5棟検出されており、この内1棟は祭祀の意味を持つものと考えられている。また、物部川左岸には林田遺跡<sup>(15)</sup>が存在する。ここからは堅穴住居跡5棟が検出され、土器と共に多量の鉄鏃が出土している。

古墳時代では、小円墳・横穴式石室・群集といった特徴を持つ後期古墳が存在し、山麓部を中心に知られている。中でも、ひびのき遺跡に近い伏原大塚古墳<sup>(16)</sup>は、5世紀末から6世紀初頭に築造されたと考えられる。また、この古墳の周溝からは須恵器の円筒埴輪が出土している。この期の須恵器の窯跡は今のところ発見されていないが、当古墳の埴輪の存在を考えれば、出現期は少なくとも築造期と同時期まで遡ることは可能であろう。また、これらの遺跡を特徴づける遺跡として当町北部の新改地区とその周辺に所在する須江古窯跡群<sup>(17)</sup>を挙げることができる。奈良時代から平安時代にかけての須恵器、瓦焼成の窯跡が現在40數カ所確認されている。窯跡の中には比江庵寺跡<sup>(18)</sup>の瓦を焼成したタンガン窯跡<sup>(19)</sup>や土佐國分寺の平瓦を焼成した東谷窯跡<sup>(20)</sup>も存在し、また新改川左岸の河岸段丘に所在する須江上段遺跡<sup>(21)</sup>、須江北遺跡<sup>(22)</sup>からは官衙的掘立柱建物跡や多量の須恵器、土師器が出土している。特に須恵器には弯曲した遺物が混在しており、須恵器生産に係わる遺跡と考えられる。なお、新改、須江地区は、その西方約2kmに土佐国府を控えていることから国府と密接な結びつきが想定される。

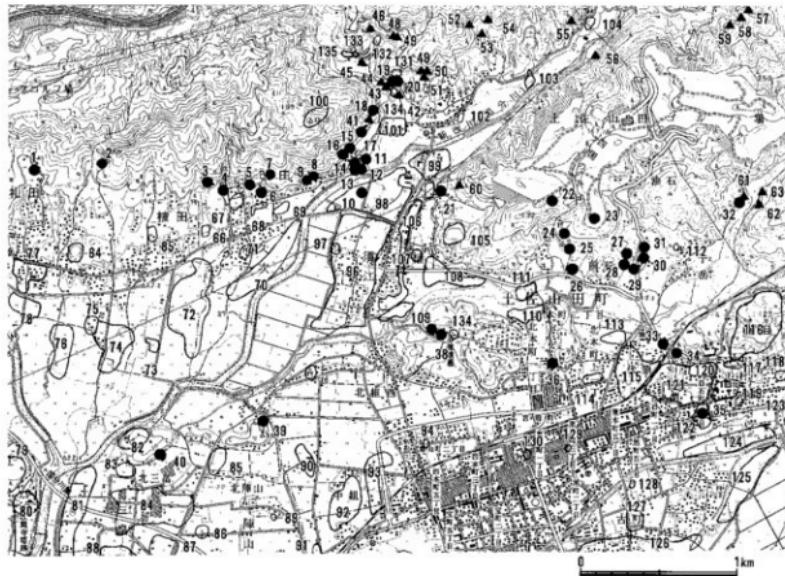
当町南部の沖積平野は高知県最大の平野、香長平野北端部にあたり、広く古代の条里制造構<sup>(23)</sup>を残している。また、「大領」・「田倉」・「宮毛田」等の地名があり、周辺からは、古代の遺物が表面採集され古代香美郡の郡の推定地<sup>(24)</sup>と考えられる。

中世では、土佐職国七雄に数えられる山田氏<sup>(25)</sup>が健久4年(1193)に土佐国へ入部以来、勢力をのばし、楠目の山田城を本拠<sup>(26)</sup>に領主制支配を行なうが、長宗我部氏により天文朝頃攻撃を受けて滅亡する。

近世にはいり野中兼山<sup>(27)</sup>による山田堰、上、中、舟入川の三用水の敷設等による長岡台地の開発により在郷町<sup>(28)</sup>として香美郡北部の山間地域と南部の平野部との接点として物産集散地となり、高知城城下町の経済圏域として発展し、今日に至る。

註

- (1) 西谷遺跡『土佐山田史談』第25号「土佐山田町における考古学の成果と課題(Ⅵ)」2000
- (2)『奥谷南遺跡I』(財)高知県文化財団埋蔵文化財センター 1999
- (3)『開キ丸遺跡 新改中部地区農場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』土佐山田町教育委員会 2002
- (4) 小山田遺跡 註1と同じ
- (5)『剣古屋岩陰遺跡発掘調査報告書』日本道路公団・高知県教育委員会 1983
- (6)『林田シタノヂ遺跡II 農村基盤総合整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』土佐山田町教育委員会 1993
- (7)『龍河洞』高知県教育委員会 1959
- (8)『土佐山田町史』P52 土佐山田町教育委員会 1979
- (9) 註8と同じP52
- (10) 註8と同じP52
- (11)『公共施設設置に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 -原遺跡-』高知県教育委員会 1982  
「公共施設設置に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 -原遺跡II-」「高知県文化財調査報告書』第25集 高知県教育委員会 1984
- (12)『原南遺跡発掘調査報告書』高知県文化財団 1991
- (13)『ひびのき遺跡』土佐山田町教育委員会 1977
- (14)『ひびのきサウジ遺跡発掘調査報告書』(土佐山田町埋蔵文化財調査報告書第8集)土佐山田町教育委員会 1990
- (15)『林田遺跡発掘調査報告書』土佐山田町教育委員会 1985
- (16)『伏原大塚古墳』(土佐山田町埋蔵文化財調査報告書第14集)土佐山田町教育委員会 1993
- (17) 註8と同じ
- (18)『高知県文化財調査報告書第16集 高知県比江庵寺跡』高知県教育委員会 1970 「高知県埋蔵文化財報告書 第33集 比江庵寺跡発掘調査概報』高知県教育委員会 1991
- (19) 註8と同じ
- (20)『新改東谷古窯跡群発掘調査』土佐山田町教育委員会 1978
- (21)『土佐山田北部遺跡群 -山田北部県営ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財試掘調査報告書-』(土佐山田町埋蔵文化財調査報告書第12集)土佐山田町教育委員会 1992
- (22) 註21と同じ
- (23)岡本健児「土佐神道考古学5」『土佐史談』第120号
- (24) 註8と同じP217
- (25) 註8と同じP248
- (26) 註8と同じP354
- (27) 註8と同じP365



| 番号 | 遺跡名      | 時代 | 番号 | 遺跡名          | 時代    | 番号  | 遺跡名      | 時代    | 番号  | 遺跡名        | 時代       |
|----|----------|----|----|--------------|-------|-----|----------|-------|-----|------------|----------|
| 1  | 中山田古墳    | 古墳 | 35 | 伏原大塚古墳       | 古墳    | 69  | 東山田遺跡    | 弥生～古墳 | 103 | 三坂山田遺跡     | 平安       |
| 2  | 萬波古墳     | *  | 36 | 八重寺西古墳       | *     | 70  | 沢田神母遺跡   | 古墳～平安 | 104 | 入野南遺跡      | 平安・中世    |
| 3  | 種田古墳群    | *  | 37 | 菊山1・2号古墳     | *     | 71  | 久次十居城跡   | 中世    | 105 | 植村城跡       | 中世       |
| 4  | 西久保古墳    | *  | 38 | 鷹谷寺古墳        | *     | 72  | 白山マダラ墓葬  | 古墳～平安 | 106 | 植木ヶ丘遺跡     | 弥生～古墳    |
| 5  | 次郎ヶ谷西古墳  | *  | 39 | 陣山古墳         | *     | 73  | 蓮ヶ丘遺跡    | *     | 107 | 植山土原跡      | 平安・中世    |
| 6  | 次郎ヶ谷古墳   | *  | 40 | 三島山古墳        | *     | 74  | 奈良内道跡    | *     | 108 | 西ケドリ遺跡     | 弥生～近世    |
| 7  | 油村市古墳    | *  | 41 | 西ノ内廻跡        | *     | 75  | 牛津城跡     | 中世    | 109 | モリカワ遺跡     | *        |
| 8  | 龜ヶ谷1号古墳  | *  | 42 | 小山田1号古墳      | 古墳・奈良 | 76  | 山野田遺跡    | 古墳～平安 | 110 | 山ノ駒古墳跡     | 中世       |
| 9  | 龜ヶ谷2号古墳  | *  | 43 | 小山田2号古墳      | 古墳    | 77  | 中ノ山城跡    | 中世    | 111 | 植木ヶ丘遺跡     | *        |
| 10 | 須坂ツカアカ古墳 | *  | 44 | 小山田3号古墳      | *     | 78  | 前堀遺跡     | 平安～中世 | 112 | 山田浜堀代墓所    | *        |
| 11 | 新古墳      | *  | 45 | 西ノ内2・3号古墳    | 奈良    | 79  | 北山城跡     | 中世    | 113 | メウカイ遺跡     | 弥生～中世    |
| 12 | 新改1号古墳   | *  | 46 | 東ノ松本御跡       | 奈良・平安 | 80  | 北山魔守寺    | 飛鳥・奈良 | 114 | 長谷川丸遺跡     | 古墳～平安    |
| 13 | 新改3号古墳   | *  | 47 | 東ノ1号古墳       | *     | 81  | 西ノ口遺跡    | 弥生～平安 | 115 | 伏見城跡       | 弥生～平安    |
| 14 | 新改4号古墳   | *  | 48 | 東ノ2号古墳       | *     | 82  | 南山城跡     | 古墳    | 116 | 梅日城跡       | 中世       |
| 15 | 梅山1号古墳   | *  | 49 | 林ノ谷1号古墳      | *     | 83  | 三森城跡     | 中世    | 117 | ひびのさき水河内道跡 | 弥生～近世    |
| 16 | 梅山2号古墳   | *  | 50 | 林ノ谷2号古墳      | *     | 84  | 三森跡      | 弥生～平安 | 118 | 10所山城跡     | 弥生～中世    |
| 17 | 西ノ内1号古墳  | *  | 51 | 林ノ谷3号古墳      | *     | 85  | 三森遺跡     | 古墳～中世 | 119 | ひびのさき道跡    | 弥生～古墳    |
| 18 | 西ノ内2号古墳  | *  | 52 | 大谷1号古墳       | *     | 86  | 白山遺跡     | 古墳～平安 | 120 | ひびのさきの神母遺跡 | 弥生～中世    |
| 19 | 小山田2号古墳  | *  | 53 | 大谷2号古墳       | *     | 87  | 水道遺跡     | 弥生～平安 | 121 | ひびのさきやま道跡  | 弥生～近世    |
| 20 | 小山田3号古墳  | *  | 54 | 大谷3号古墳       | *     | 88  | 高瀬遺跡     | 奈良～中世 | 122 | 大坂城跡       | *        |
| 21 | タンガン古墳   | *  | 55 | 八ノ谷古墳        | 平安    | 89  | 有馬北健山遺跡  | 平安    | 123 | 大西ノ山遺跡     | 弥生       |
| 22 | 深坂古墳     | *  | 56 | 種々イガイ古墳      | 古墳・奈良 | 90  | 尻手の西遺跡   | 古墳～平安 | 124 | 梅日遺跡       | 弥生～近世    |
| 23 | 秋坂古墳     | *  | 57 | 大法寺二反田遺跡     | 古墳    | 91  | 山野三ツ又西遺跡 | *     | 125 | 原舟井遺跡      | *        |
| 24 | 秋坂東古墳    | *  | 58 | 大法寺ヘニヤハラ遺跡   | 奈良・平安 | 92  | 山野三ツ又東遺跡 | *     | 126 | 原遺跡        | 弥生～近世    |
| 25 | 中財古墳     | *  | 59 | 大法寺ヘニヤハラ2号室跡 | *     | 93  | 山野三ツ又東遺跡 | 弥生～中世 | 127 | 吉野西遺跡      | 弥生～平安    |
| 26 | 渡瀬古墳     | *  | 60 | タンガン遺跡       | 飛鳥    | 94  | 谷内遺跡     | 近世    | 128 | 吉野北遺跡      | 弥生～古墳    |
| 27 | 板ヶ谷古墳    | *  | 61 | 手曲古墳         | 古墳    | 95  | 野中神社     | 近世    | 129 | 公義の井戸2     | 近世       |
| 28 | 飛行山1号古墳  | *  | 62 | 長谷山1号古墳      | 平安    | 96  | 須山1段遺跡   | 古墳～近世 | 130 | 公義の井戸1     | *        |
| 29 | 飛行山2号古墳  | *  | 63 | 長谷山2号古墳      | *     | 97  | 須山駅跡     | 平安    | 131 | 松本山長久寺跡    | 中世～近世    |
| 30 | 狩得古墳     | *  | 64 | 更ノ子所遺跡       | 古墳～中世 | 98  | 須山北道跡    | 古墳～平安 | 132 | 勝持寺跡       | *        |
| 31 | 大元神社古墳   | *  | 65 | 種田土居城跡       | *     | 99  | 萬葉神社遺跡   | 奈良～中世 | 133 | 勝美寺跡       | *        |
| 32 | 人元神社北古墳  | *  | 66 | 中野遺跡         | 古墳～平安 | 100 | 改修古物院の城跡 | 中世    | 134 | 小山田遺跡      | 萬葉・古代～中世 |
| 33 | 与岳古墳     | *  | 67 | 北野遺跡         | 古墳～中世 | 101 | 南ヶ内道跡    | 弥生～中世 | 135 | 西行遺跡       | 旧石器      |
| 34 | 小金山古墳    | *  | 68 | 辻谷道跡         | 古墳～平安 | 102 | 屋代丸遺跡    | 中世    |     |            |          |

図2 周辺の遺跡分布図・表

## 第Ⅱ章 調査に至る経過と調査方法

### 1. 調査に至る経過

近年、農業の規模拡大等の整備政策が進められ、農業構造改善事業として、圃場整備事業が行なわれている。当新改地区においても改良組合が設立され、山田北部地区土地改良、新改西部土地改良、新改中部土地改良と設立され、県営圃場整備事業が計画、実施されている。

山田北部土地改良区内は県下でも有数の埋蔵文化財包蔵地であり、土佐山田町教育委員会は工事計画との調整資料を得るために、昭和63・平成元・2・3年度に文化庁国庫補助金により遺構の範囲確認のための試掘確認調査を実施し、基礎データを得た。その後、事業施工による埋蔵文化財の保存協議を高知県南国耕地(現中央東耕地)事務所、山田北部地区土地改良区、土佐山田町教育委員会の三者で協議した。その結果、盛土工法等による計画変更がなされたが一部施工計画が変更できない箇所について、遺構の記録保存を図る調整協議がされ、記録保存のための発掘調査を実施した。

本調査の対象である須江ツカアナ古墳は大正3年頃に地元の青年会<sup>⑩</sup>により当時、内務省国有地であった雑種地で周辺よりも一段高い地形を呈していた当古墳を開墾して水田化した。開発面積は約2畝(約198m<sup>2</sup>)で古墳に使用されていた石材の一部は周辺の用水路の石垣や石橋に使われたとのことである。昭和40年頃の写真、都市計画図には水田の主畦は直径15~16m円形として残っており、破壊はされているが古墳の石室床面が残存する可能性があり、発掘調査を実施するに至った。

### 2. 調査の方法

試掘確認調査の結果により、水路、農道、削平部の調査区を設定し、耕作土等の表土を主に重機により除去して、遺構検出面または、遺物包含層直上まで掘削を行なった後、人力による精査を行なった。遺構、遺物の出土状況及び土層等については、写真撮影を行なった後、平面図及び断面図を作成した。遺物の取り上げ、遺物の実測については、任意座標に基づいて地区全体に4m方眼をかけ記録、実測を行なった。平面実測、及び地層断面については、20分の1を基本とし、必要に応じて10分の1の実測を行なった。

註

- (1)『土佐山田史談』第15号(「須江ツカアナ古墳」の思い出) 時久盛義 P41~42 1981



(参考)昭和40年頃の須江ツカアナ古墳



(参考)開田時の記念写真



図3 須江ツカアナ古墳位置図



図4 須江ツカアナ古墳現状図（上段 昭和40年頃・下段 平成5年）

### 第Ⅲ章 遺構と遺物

#### 1. 遺構

遺構は調査区の中央部に石室及び南部にピット、土坑が位置している。基本層序は1層が褐灰色土層、2層黒色土層、3層明黄褐色黄土層、4層砂疊土層、からなる。

今回の調査で確認された遺構のうち、石室、土坑、溝跡、ピットが検出されたが、圃場整備施工により影響受ける調査区の南側、3分2を調査し、全体写真、平板測量の記録とした。これら遺構のうち、遺物が出土した石室、周溝、ピットについて報告する。

##### (1) 石室(図7)

調査区の中心に位置する。調査時点においては古墳石室の壁石は存在せず、抜き取り穴が認められた。石室の床面には周辺からの客土と考えられる層がみられ、層土中より古代の須恵器、土師器、瓦質土器等が混在している。その下位に石室床面があり、川原石の小石から拳大の石が敷き詰められており、辛うじて玄室、羨道が確認できる。敷石の検出状況から片袖式の横穴式石室であり、羨道、玄室を含めた長さ8.50m、幅2.20mを測る。石室床面下部は黒色土層が若干みられ、次の下部層は指の先程度の裸層を成している。

玄室床面より須恵器片、銀環3個、土師質土器、寛永通宝1枚、また玄室、羨道の一部は農道擁壁築造時の掘削により破壊されている。羨道閉塞部分より須恵器、金銅製鞘残片が散在して出土しているので原位置で保全された出土でなく、搅乱と考えられる。

##### (2) 周溝(図6)

古墳石室入り口付近には古墳内部から延びる排水溝がそのまま古墳を巡る周溝となり、古墳の3/4を巡る。周溝は素堀で古墳前底部である排水溝(周溝)には四つのピットが検出され、その柱穴の四隅内外からは高杯、甕、甕台付甕が出土し、墓前祭祀跡と考えられる。

周溝は前底部で逆「の」の字で古墳を巡る。周溝の最大幅5.50m、深さ1.20mで護岸用の葺石はみられない。

周溝の層位は耕作土を除き上位から1層は黒色土層、2層は黒色と褐色の混ざった土層、3層は、黒色土層からなる。

##### (3) 土坑

###### SK-1(図6)

発掘調査区の南西部に位置する土坑で東西約1.90m、南北2.25m、深さ約30cmを測る。

###### (4) ピット

###### P-2(図6)

平面形はほぼ円形を呈し、直径30~33cm、底部は平坦で深さ15cmを測る。



図5 発掘調査位置図

## 2. 出土遺物

古墳からは石室周辺、石室の埋土中及び床面、石室前庭部から遺物が出土している。特に石室床面と石室前庭部にある石室内部の排水を目的とした溝跡、土坑、ピットから遺物が出土している。層位上、Ⅱ層は遺物包含層であるが古墳石室(玄室)部分の出土遺物で当古墳の関連遺物と考えられる遺物は石室の遺物として取り扱い報告する。また古墳関連以外の遺物である古代・中世関連の遺物は遺物包含層出土の遺物として報告する。以下、完形の遺物を中心に述べる。破片等の遺物の詳細は遺物観察表を参照されたい。

### (1) 石室の遺物

石室部分からの遺物として、実測番号1は須恵器の杯蓋で口縁部はやや外に広がり内湾しながら立ち上がる。天井部はやや丸みを帯びている。内外面ともにロクロによる横ナデ調整を施す。天井部は回転削りによる切り離しが見られる。2は須恵器の杯蓋で口縁部はやや外に広がり内湾ながら立ち上がり天井部に至る。天井部はやや丸みを帯びる。内外面ともにロクロによる横ナデ調整を施す。3は須恵器の杯蓋で口縁部はやや外に広がり内湾しながら立ち上がり天井部に至る。天井部はやや平らに調整されている。内外面ともにロクロによる横ナデ調整がみられる。5は蓋で中央部が窪んだボタン状の摘みをもつ。口縁部は被損している。天井部でやや丸みをなす。内外面ともにロクロによる横ナデ調整を施す。6は須恵器の蓋で平らな摘みが付く。口縁部は被損している。内外面ともにロクロによる横ナデ調整を施す。7は須恵器の蓋で中央部が窪んだボタン状の摘みをもつ。8は須恵器の蓋で口縁部端はシャープに仕上がり内側に返りがつく。返りは内側に納める。口縁部はやや広がり内湾しながら天井部に至る。天井部は丸みをなしボタン状の摘みがつく。内外面ともにロクロによる横ナデ調整が施される。9は須恵器の蓋で口縁部の端部は丸く、内側に返りがつく。返りは蓋の端部より内側に納める。端部より内側に曲がり一段の段がみられ、さらに天井部に至る。天井部はやや平らで天井部の中央に乳首状を呈す摘みがつく。10は須恵器の杯身で底部は丸く外に向かって外反して立ち上がる。受身部は口縁部より低く、口縁部は丸く仕上げる。内外面ともにロクロによる横ナデ仕上げである。11・12・13は杯身の口縁部でロクロによる横ナデ調整仕上げである。15は須恵器の高杯で縦部はラッパ状に広がりやや外反して立ち上がり杯部の底部に至る。脚部中央には凹線が一本みられ、透かし穴が二段ある。杯部は立ち上がり部分で二つの段があり上段より垂直に立ち上がり口縁部に至る。16は高杯の縦部で口縁はラッパ状に広がり端部は厚い。脚部中央には凹線が一本みられ、透かし窓は本来二段であるが被損して一段に見える。杯部の口縁部は被損している。内外面ともにロクロによる横ナデ調整を施す。18は高杯の脚部で杯部は被損している。脚部はラッパ状に広がり端部は厚い。やや外反して立ち上がり杯底部に至る。内外面ともにロクロによる横ナデ仕上げである。24は高杯の杯部と脚部の接合部分の破片である。25は高杯の杯部分で底部より外反した部分に一段の段がありそこからやや垂直に立ち上がり口縁部に至る。内外面ともにロクロによる横ナデ調整を施す。32は須恵器の小形壺と考えられる。底部の高台は破損し、胴部は内外面にロクロによる横ナデ調整が施される。33は須恵器の短口壺の口縁部の破片で内外面に横ナデ調整が施される。34は須恵器の平瓶で底部は平底で底部より外反して立ち上がり胴部中央部で内側に折れ口縁部に至り口縁部で再び外反しラッパ状に開く。内外面ともにロクロによる横ナデ調整を施す。35は須恵器の台付長頸壺と考えられる。底部と口縁部は被損している。胴部は内外面ともにロクロによる横ナデ調整を施す。胴部折れ部に凹線1本がみられ、その下部にはハケ状工具による刺突文が施され、それ以下に凹線が2本、施されている。36は須恵器の台付長頸壺で直口壺に近い個体である全体に歪みがみられる。底部は平らであるが、肩部はハの字形に開き外面には凹線が1本巡る。胴部は扁平に近い。胴部中央には凹線が1本巡る。口縁部は垂直に立ち上がる。37は須恵器の壺の口縁部で胴部上部から外反し立ち上がり口縁部に至る。内外面共にロクロによる横ナデ調整を施す。38・39・40・41・42・43は須恵器の壺の口縁部の破片で胴部上部より外反し立ち上がり口縁部に至る。内外面共にロクロによる横ナデ調整を施す。44は須恵器の短頸壺か罐の口縁部で内外共に横ナデ調整がみられる。

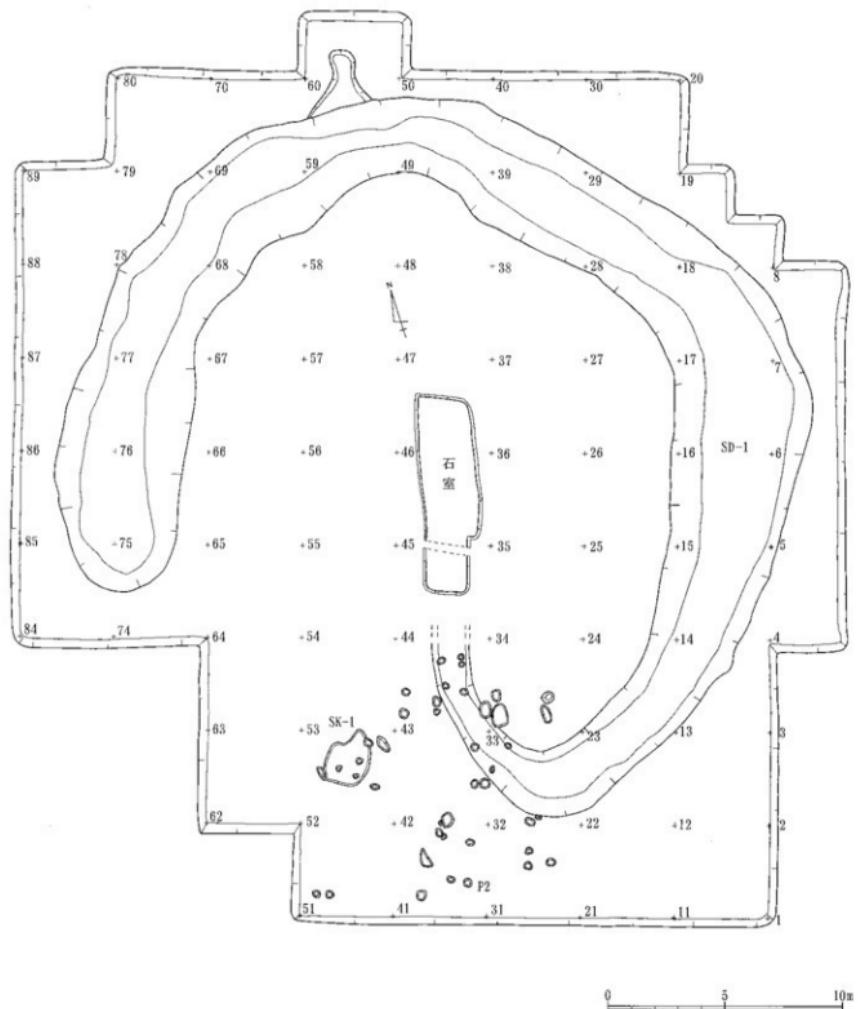


図6 須江ツカアナ古墳平面図

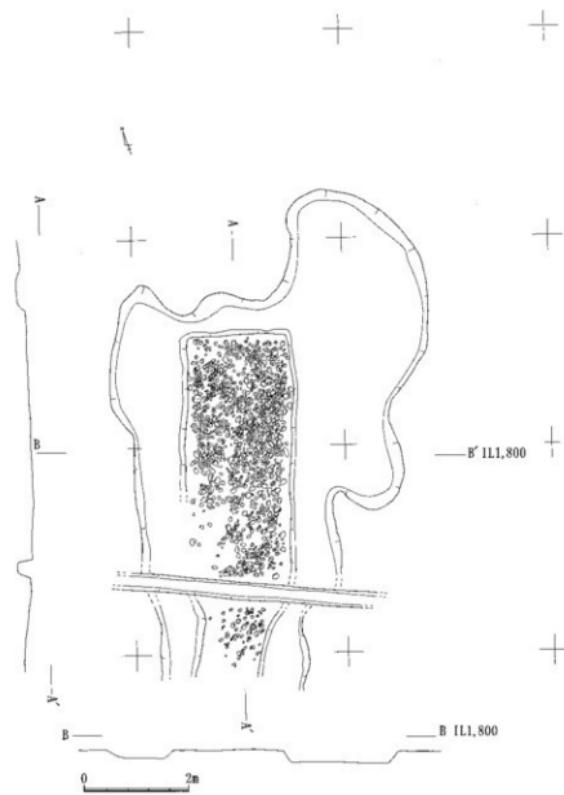


図7 須江ツカアナ古墳玄室平面図

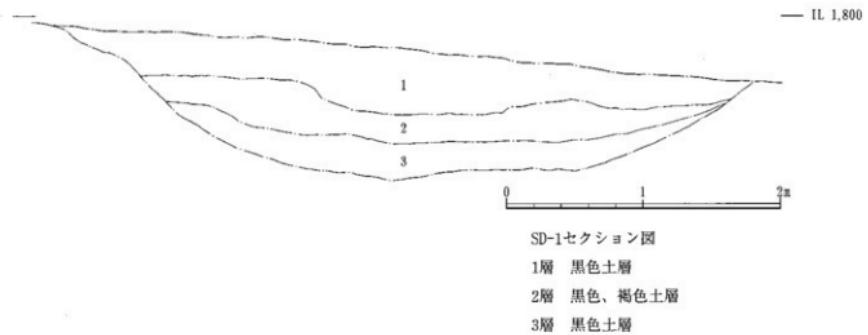


図8 須江ツカアナ古墳周溝セクション図

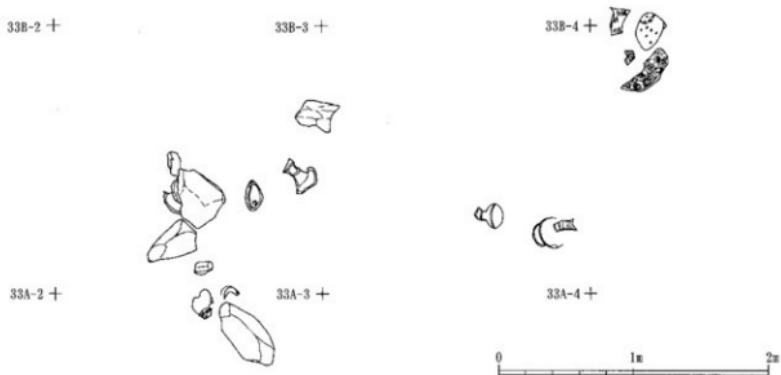


図9 須江ツカアナ古墳SD-1遺物出土実測図

#### (2)溝跡の遺物

SD-1からは須恵器の縫、蓋が出土している。4は須恵器の蓋で口縁部からやや内湾して立ち上がる。肩部分に凹線が1本みられる。内外面共にロクロによる横ナデ調整がみられる。19は須恵器の高杯の脚部で裾部はラッパ状に開く。裾部から内湾して垂直に立ち上がり杯部接合部分に至る。裾部外面に1本の凹線、脚部中央部分に2条の凹線がみられる。内外面共にロクロによる横ナデ調整が施される。22は須恵器の高杯の脚部で裾部はラッパ状に開く。裾部から内湾して立ち上がる。透かし窓があり、内外面共にロクロによる横ナデ調整を施す。27・28・29は須恵器の台付縫で破損個体も含めて3個体ともにハの字形の裾部をもち、扁平の胴部に円穴(約15cm)があり胴部の肩部と体上部には各1本の凹線があり、その間は文様帶で27は文様は櫛描斜め文様と28・29はハケ状工具による刺突文が施されている。口頭部は外反して頭上部さらに外反して縫をなし1本の凹線が巡る。それよりやや内反して上外方に上がり、口縁が開く。先端は丸い。頸部は下に1本、中央部に2本の凹線がある。文様は上中下の3段にみられ口縁下の上段には櫛目文、中段にも櫛目文、下段の文様は27は櫛描斜め文様、28・29はハケ状工具による刺突文が施される。30は須恵器の縫で底部は丸みの底部で胴部に1本の凹線を巡らし、円穴(約15cm)がある。頸部中央部分には2本の凹線があり、頭上部は外反して縫をなし1本の凹線が巡る。それよりやや内反して上外方に上がり、口縁が開く。先端は丸い。31は縫の口縁部で内外面共にロクロによる横ナデ調整がみられる。

#### (3)土坑の遺物

SK-1からは須恵器の杯、高杯が出土している。14は須恵器の杯身の底部で内外面共に横ナデ調整が施される。17は須恵器の高杯の脚部で裾部は欠落している。中央部分に2本の凹線があり、二段の透かし窓がみられる。20は須恵器の高杯の脚部でラッパ状に開く。透かし窓がみられる。21は須恵器の高杯の脚部でラッパ状に開く。透かし窓がみられる。23は須恵器の高杯の脚部上部と杯部で脚部中央部分に1本の凹線があり、透かし窓がある。

#### (4)ピットの遺物

P-2からは須恵器の高杯の脚部の破片で、内外面共に横ナデ調整が施されている。

(5) 包含層出土遺物(古代～中世遺物観察表参照)

1は須恵器の椀でしっかりした高台が付く。底部より外反して立ち上がり口縁部に至る。端部は丸い。内外面共に横ナデ調整が施される。2は土師器の椀でしっかりした高台がつく。底部より外反して立ち上がり口縁部に至る。端部は丸い。内外面共に横ナデ調整が施される。3は須恵器の甕の底部で底は平らに仕上がり底部より外反し立ち上がる。内外面に横ナデ調整がみられる。4は土師器の杯で底部外面には回転糸切り痕が僅かにみられ、底部より外反して立ち上がり口縁部に至る。5は須恵器の椀で底部は平らで底部より外反して立ち上がり口縁部に至る。端部は丸い。内外面に横ナデ調整が見られる。6・7・8は土師質土器で6は底部の破片で外面に僅かに糸切り痕が残る。7は杯で平底の底部から外反して立ち上がり、口縁部に至る。先端は丸い。8は杯で精緻な粘土で底部外面は糸切り痕が残る。底部より立ち上がり外反して口縁部に至る。端部は丸いる内外面にロクロによる横ナデ調整が施される。10~15は瓦質土器で細い高台で底部から緩やかに立ち上がり口縁部に至る。内外面共に横ナデ調整がみられる。16~18は土師質土器の鍋で口縁部の破片である。口縁部下に稜がみられ、内外面は横ナデ調整が施されている。19は釜か甕の口縁部の破片で口縁部で垂直に立ち上がる。内外面に横ナデ調整がみられる。20~23瓦質土器の鍋で口縁部の破片である。口縁部下に稜または頸が付く。内外面に横ナデ調整がみられる。24・25は備前の播鉢の口縁部の破片である。内面に摺目がみられ口縁部は屈曲部外面はつよい横ナデにより凹線が入る。

| 図版番号 | 写真番号 | 出土地点     | 種類 | 厚さ(mm) | 重さ(g) | 径(cm) | 備考      |
|------|------|----------|----|--------|-------|-------|---------|
| 1    | 34   | 玄室床面     | 耳環 | 5      | 110   | 2.3   | 銅に漆銀    |
| 2    | 35   | 玄室床面     | 耳環 | 5      | 120   | 2.2   | 銅に漆銀    |
| 3    | 36   | 玄室床面     | 耳環 | 2      | 20    | 2     | 銅       |
| 4    | 43   | 玄室床面     | 鉗  | 10     |       |       | 墨部      |
| 5    | 41   | 玄室床面     | 馬具 | 6.7    |       |       | 鞍具      |
| 6    | 37   | 玄室床面     | 刀子 | 5      |       |       |         |
| 7    | 40   | 玄室床面     | 鉄鍊 | 1      |       |       | 鐵銀の墨部   |
| 8    | 39   | 玄室床面     | 鉄器 | 5      |       |       |         |
| 9    | 38   | 漢道入口閉塞部分 | 鉄鍊 |        |       |       | 鐵身部に布目痕 |
| 10   | 42   | 玄室床面     | 不明 |        |       |       |         |
| 11   | 33   | 玄室床面     | 轔  | 0.8    |       |       | 金銅鏡柄    |
| 12   | 32   | 玄室床面     | 銅鏡 |        | 20    |       | 寛永通宝    |

須江ツカアナ古墳出土の金属製品

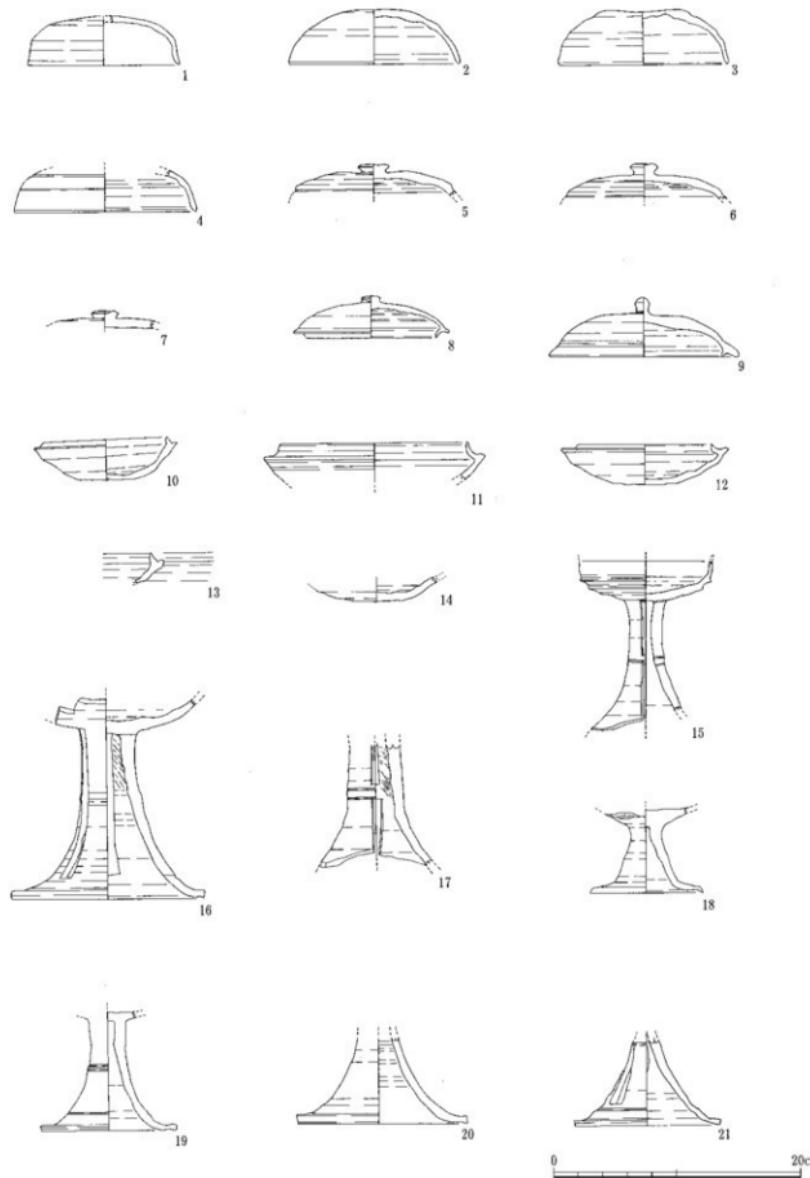
# 古墳時代 遺物観察表

| 図<br>No | 写真<br>No      | 出土地点<br>遺物・部位 | 種類          | 特徴          | 法面 (cm) |      |                                  | 出土 | 成形 | 色調   | 評価<br>成形/調整/その他の<br>状況 |
|---------|---------------|---------------|-------------|-------------|---------|------|----------------------------------|----|----|--|------------------------|
|         |               |               |             |             | 口径      | 容積   | 底径                               |    |    |  |                        |
| 1 2     | 玄室床面          | 蓋             | 須恵器         | 11.8        | 4.0     | -    |                                  |    |    | 内面:36/灰<br>外面:36/灰                                       |                        |
| 2 3     | 玄室床面          | 蓋             | 須恵器         | 14.0        | 4.4     | -    |                                  |    |    | 内面:36/灰<br>外面:36/灰                                       |                        |
| 3 4     | 玄室床面          | 蓋             | 須恵器         | 14.0        | 4.4     | -    |                                  |    |    | 内面:36/灰<br>外面:36/灰                                       |                        |
| 4 50    | SD-1          | 蓋             | 須恵器<br>(確定) | -           |         |      |                                  |    |    | 内面:36/灰<br>外面:36/灰                                       |                        |
| 5 45    | 玄室日層          | 蓋             | 須恵器         | -           | -       | -    | 1~3mmの白い砂粒<br>無色の小石混じる           |    | 良好 | 内面:36/灰<br>外面:36/灰                                       |                        |
| 6 44    | 玄室床面          | 蓋             | 須恵器         | -           | 3.8     | -    | 白色の砂・小石混入                        |    | 良好 | 内面:36/灰<br>外面:36/灰<br>表面:36/灰                            |                        |
| 7 45    | 玄室日層          | 蓋             | 須恵器         | -           | -       | -    | 白石(1mmくらい)<br>混入                 |    | 良好 | 内面:17.5/5/1灰<br>外面:17.5/5/1灰<br>表面:17.5/5/1灰             |                        |
| 8 6     | 玄室床面          | 蓋             | 須恵器<br>(確定) | 10.6        | 3.5     | -    | 1mmくらいの白い<br>小石混入                |    | 良好 | 内面:36/灰<br>外面:36/灰                                       |                        |
| 9 5     | 玄室日層          | 蓋             | 須恵器         | 13.6        | 4.9     | -    | 0.5~1.0mmの白い<br>石が混入する           |    | 良好 | 内面:36/灰<br>外面:36/灰                                       | 全面状態                   |
| 10 1    | 玄室日層          | 杯身            | 須恵器         | 10.0        | 3.5     | 4.3  |                                  |    | 良好 | 内面:17.5/5/1灰<br>外面:17.5/5/1灰<br>表面:17.5/5/1灰             |                        |
| 11 54   | 玄室日層          | 杯身            | 須恵器         | 15.4        | -       | -    | 0.5mmの白い小石<br>混入                 |    | 良好 | 内面:17.5/5/1灰<br>外面:36/1/オーリーブ<br>表面:36/1/灰               |                        |
| 12 52   | P-2           | 杯身            | 須恵器         | 11.0        | 3.3     | -    | 1mmの白石混入                         |    | 良好 | 内面:36/灰<br>外面:36/灰<br>表面:36/灰                            |                        |
| 13 51   | 玄室日層          | 杯身<br>口縁部     | 須恵器         | -           | -       | -    | 白い小石が嵌入す<br>る                    |    | 良好 | 内面:36/灰<br>外面:36/灰<br>表面:36/灰                            | 表面に白石と灰(黒色)が付着         |
| 14 53   | SK-1          | 杯身<br>底部      | 須恵器         | -           | -       | 4.0  |                                  |    |    | 内面:36/灰<br>外面:36/灰<br>表面:36/灰                            |                        |
| 15 29   | 玄室日層          | 高环            | 須恵器<br>(確定) | 10.8        | -       | -    | 0.5~1mmくらいの白<br>い小石が混入する         |    | 良好 | 内面:17.5/5/1灰<br>外面:17.5/5/1灰                             |                        |
| 16 30   | 玄室日層          | 高环            | 須恵器         | -           | -       | 15.8 | 1mm以下で3mm以上の<br>白い小石が混入する<br>が多め |    | 良好 | 内面:36/灰<br>外面:36/灰<br>表面:36/灰                            |                        |
| 17 60   | SK-1          | 高环脚           | 須恵器<br>(確定) | 9.2         | -       | -    | 2mm、3mmの白い小石<br>混入               |    | 良好 | 内面:36/5/1灰<br>外面:36/5/1灰<br>表面:36/5/1灰                   |                        |
| 18 9    | 玄室日層          | 高环脚           | 須恵器<br>(確定) | 9.2         | -       | -    | 1~2mmの白系と黑<br>系の小石混じる            |    | 良好 | 内面:36/5/1灰<br>外面:36/5/1灰<br>表面:36/5/1灰                   |                        |
| 19 10   | SD-1          | 高环脚           | 須恵器         | 9.7         | -       | 11.2 | 1mmの白、黒石                         |    | 良好 | 内面:36/1/灰<br>外面:36/1/灰<br>表面:36/1/灰                      |                        |
| 20 61   | SK-1          | 高环脚           | 須恵器         | -           | 7.0     | 14.0 | 白砂石                              |    | 良好 | 内面:17.5/7/1オーリーブ<br>外面:17.5/7/1オーリーブ<br>表面:17.5/7/1オーリーブ | 表面クロロ灰                 |
| 21 59   | SK-1          | 高环脚           | 須恵器<br>(確定) | 12.0        | -       | -    | 白い1mm以下の砂<br>粒混じる                |    | 良好 | 内面:36/5/1灰<br>外面:36/5/1灰<br>表面:36/5/1灰                   |                        |
| 22 11   | SD-1          | 高环脚           | 須恵器         | -           | -       | 5.1  | 1~1.5mmの白い小<br>石が混入              |    | 不良 | 内面:36/7/1灰<br>外面:36/7/1灰<br>表面:36/7/1灰                   |                        |
| 23 8    | SK-1          | 高环脚           | 須恵器         | -           | 6.0     | 5.3  | 白い小石が若干見<br>られる                  |    | 良好 | 内面:36/5/1灰<br>外面:17.5/5/1灰<br>表面:36/5/1灰                 |                        |
| 24 62   | 玄室日層          | 蓋<br>(蓋一溝足)   | 須恵器<br>(確定) | 9.0         | -       | -    | 1mmくらいの白い<br>砂粒                  |    | 良好 | 内面:17.5/5/1灰<br>外面:36/5/1灰<br>表面:36/5/1灰                 |                        |
| 25 7    | 玄室日層          | 高环<br>杯       | 須恵器         | 9.6         | -       | -    |                                  |    | 良好 | 内面:36/5/1灰<br>外面:36/5/1灰                                 |                        |
| 26 63   | P-2           | 高环脚部          | 須恵器         | -           | -       | -    | 白石(1mmくらい)<br>混入                 |    | 良好 | 内面:17.5/7/1灰<br>外面:36/5/1オーリーブ<br>表面:36/5/1灰             |                        |
| 27 27   | SD-1          | 蓋             | 須恵器         | 13.0        | 18.3    | -    | 1~2mmの白い小石<br>混入                 |    | 良好 | 内面:17.5/7/1灰<br>外面:36/5/1灰                               |                        |
| 28 28   | SD-1          | 蓋             | 須恵器         | 6.2         | 17.0    | 4.1  | 1~3mmの白石と透<br>明の石を含む             |    | 良好 | 内面:17.5/6/1灰<br>外面:17.5/5/1灰                             |                        |
| 29 18   | 玄室日層<br>SD-01 | 台付鏡           | 須恵器         | 9.6         | -       | -    | 1~2mmの白い小石<br>混入                 |    | 良好 | 内面:17.5/6/1灰<br>外面:36/5/1灰<br>表面:36/5/1灰                 |                        |
| 30 17   | SD-1          | 小型瓶           | 須恵器         | 11.4        | 10.0    | -    | 2~3mmの白色の石<br>を多くむ               |    | 良好 | 内面:17.5/7/1灰<br>外面:36/4/1灰                               |                        |
| 31 48   | SD-1          | 瓶<br>口縁部      | 須恵器<br>(確定) | 12.4        | -       | -    | 2~3mmの小石(白)<br>を多くむ              |    | 良好 | 内面:17.5/6/1灰<br>外面:17.5/5/1灰<br>表面:17.5/5/1灰             |                        |
| 32 64   | II層           | 小型瓶           | 須恵器         | -           | -       | 2.6  | 0.5mmくらいの白<br>い小石                |    | 良好 | 内面:36/4/1灰<br>外面:36/4/1灰                                 |                        |
| 33 47   | 玄室日層          | 短脚<br>口縁部     | 須恵器         | 8.0         | -       | -    | 1mmくらいの白石                        |    | 良好 | 内面:17.5/5/1灰<br>外面:18/1/1灰<br>表面:36/5/1灰                 |                        |
| 34 15   | 玄室床面          | 平瓶            | 須恵器         | 7.0<br>(確定) | 15.0    | -    | 1~2mmの白い砂粒<br>混入                 |    | 良好 | 内面:36/5/1灰<br>外面:36/5/1灰<br>表面:36/5/1灰                   |                        |
| 35 16   | 玄室床面          | 台付長擴壺         | 須恵器         | 15.3        | -       | -    | 2~3mmの白い小石<br>混入                 |    | 良好 | 内面:36/5/1灰<br>外面:36/5/1灰<br>表面:36/5/1灰                   | 精良                     |

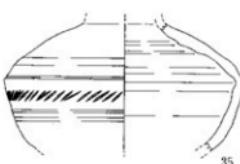
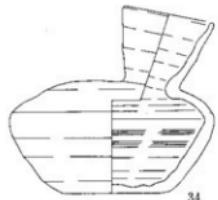
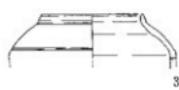
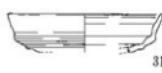
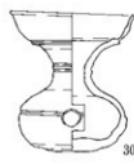
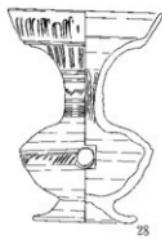
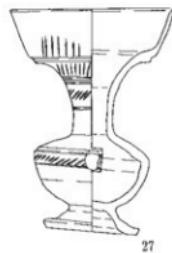
| 図<br>No. | 写真<br>No. | 出土地点<br>遺跡・層位          | 種類  | 器種                  | 法面 (cm) |    |    | 地土                               | 地成 | 色調   | 特徴<br>成形／調整／その他 |
|----------|-----------|------------------------|-----|---------------------|---------|----|----|----------------------------------|----|--|-----------------|
|          |           |                        |     |                     | 口径      | 高さ | 底径 |                                  |    |  |                 |
| 36       | 31        | 玄室Ⅱ層<br>台付長腰帯          | 須恵器 | 5.0<br>(底足)<br>12.6 | -       | -  | -  | 体部に2mmの石が<br>詰いた跡有               | 良好 | 内面:7.5V6/灰<br>外側:2.5V6/灰<br>断面:1.5V5/5灰<br>軸面:1.5V6/黄灰   |                 |
| 37       | 14        | 玄室Ⅱ層<br>口縁部            | 須恵器 | 26.0<br>(底足)        | -       | -  | -  | 1mmくらいの白い<br>小石が混入する             | 良好 | 内面:1.5V5/1灰<br>外側:2.5V5/1灰<br>断面:1.5V6/黄灰                |                 |
| 38       | 15        | 玄室Ⅱ層<br>(試掘)           | 須恵器 | 18.0<br>(底足)        | -       | -  | -  | 1mm程度の白石混<br>入                   | 良好 | 内面:1.5V5/1灰<br>外側:2.5V5/1灰<br>断面:2.5V5/1灰                |                 |
| 39       | 58        | 玄室Ⅱ層<br>口縁部            | 須恵器 | 25.0<br>(底足)        | -       | -  | -  | 1~3mmの白小石                        | 良好 | 内面:7.5V5/1灰<br>外側:1.5V5/1灰<br>断面:1.5V6/1灰                |                 |
| 40       | 57        | 玄室Ⅱ層<br>口縁部            | 須恵器 | -                   | -       | -  | -  | 白石、黒石                            | 不良 | 内面:2.5V6/1灰<br>外側:2.5V6/1灰<br>断面:2.5V6/1灰<br>軸面:2.5V6/1灰 | 内外面凹状模ナデ        |
| 41       | 55        | 玄室Ⅱ層<br>口縁部            | 須恵器 | 9.2                 | -       | -  | -  | 白系の小石混                           | 良好 | 内面:2.5V6/1灰<br>外側:2.5V6/1灰<br>断面:2.5V6/1灰                |                 |
| 42       | 12        | 玄室Ⅱ層<br>口縁部            | 須恵器 | 18.8                | 5.5     | -  | -  | 0.5~1.0mm程の白<br>系、白+茶混じり<br>の石混入 | 良好 | 内面:7.5V5/1灰<br>外側:2.5V6/1灰<br>断面:1.5V5/5灰                |                 |
| 43       | 56        | 玄室Ⅱ層<br>口縁部            | 須恵器 | -                   | -       | -  | -  | 白い砂がよく混じ<br>る                    | 良好 | 内面:2.5V6/1灰<br>外側:2.5V6/1灰<br>断面:2.5V6/1灰                |                 |
| 44       | 49        | 玄室Ⅱ層<br>短腰帯(底?)<br>口縁部 | 須恵器 | -                   | -       | -  | -  | 白石混入                             | 良好 | 内面:7.5V5/1灰<br>外側:2.5V6/1灰<br>断面:2.5V5/1灰                |                 |

**古代～中世 遺物観察表**

| 国<br>No. | 写真<br>No. | 出土地名<br>遺跡・層位 | 種類       | 器種            | 法量(cm)       |     |      | 粘土                       | 焼成 | 色調  | 特徴<br>成形／調整／その他 |
|----------|-----------|---------------|----------|---------------|--------------|-----|------|--------------------------|----|---|-----------------|
|          |           |               |          |               | 口径           | 深さ  | 底径   |                          |    |   |                 |
| 1        | 19        | 玄室I層          | 瓶        | 須恵器           | 13.0<br>(確定) | 3.7 | 8.2  | 2~3mmの白い小石<br>混入         | 不良 | 内面:5377/14cm白<br>外面:5377/14cm白                  |                 |
| 2        | 21        | 玄室I層          | 瓶        | 土師器           | 15.6         | 4.7 | 6.4  |                          |    | 内面:5377/14cmにい黄褐<br>外面:5377/14cmにい黄褐            |                 |
| 3        | 65        | 玄室I層          | 壺        | 須恵器           | -            | -   | 15.6 |                          |    | 内面:536/灰<br>外面:537/灰<br>断面:536/灰                |                 |
| 4        | 22        | II層           | 杯        | 土師器           | 14.7         | 3.9 | 7.4  |                          |    | 内面:5377/4cmにい黄<br>外面:5377/4cmにい黄                |                 |
| 5        | 20        | 玄室I層          | 碗        | 須恵器           | 16.0<br>(確定) | -   | -    | 5~7mm程のやや大き<br>めの粗い白石が入る | 良好 | 内面:5377/5cm灰<br>外面:5377/5cm灰                    |                 |
| 6        | 81        | 玄室I層          | 瓶        | 土師質土器         | -            | -   | 10.6 |                          |    | 内面:5377/14cm白<br>外面:5377/14cm白                  |                 |
| 7        | 23        | II層           | 瓶        | 土師質土器         | 14.0<br>(確定) | 4.6 | 6.8  | 黒の小石混じり                  | 良好 | 内面:5379/4cmにい黄<br>外面:5379/4cmにい黄                |                 |
| 8        | 24        | II層           | 瓶        | 土師質土器         | 13.4         | 3.6 | 4.7  | 精良                       | 良好 | 内面:5379/4cmにい黄<br>外面:5379/4cmにい黄                | 輪軸系切り           |
| 9        | 25        | II層           | 瓶        | 瓦質土器          | 15.0         | 5.1 | 5.6  |                          |    | 内面:536/灰<br>外面:536/灰                            |                 |
| 10       | 66        | II層           | 楕(無蓋)    | 瓦質土器          | 16.0<br>(確定) | -   | -    | 露目、白石                    | 良好 | 内面:536/灰<br>外面:536/灰<br>断面:5377/2黄灰             |                 |
| 11       | 68        | 玄室I、II層       | 楕(有蓋)    | 瓦質土器          | 15.0<br>(確定) | -   | -    | 白石混                      | 良好 | 内面:536/灰<br>外面:536/灰<br>断面:5377/2灰白             |                 |
| 12       | 26        | II層           | 瓶        | 瓦質土器<br>(粗末)  | 17.0         | -   | 4.4  | 白石(基系)混じり<br>(若干)        | 良好 | 内面:536/灰<br>外面:536/灰                            |                 |
| 13       | 70        | II層           | 楕(無蓋)    | 瓦質土器          | -            | -   | -    | 白灰色の小石混入                 | 良好 | 内面:536/灰<br>外面:536/灰<br>断面:538/1灰白              |                 |
| 14       | 69        | 玄室I層          | 瓶<br>底部  | 瓦質土器<br>(粗末)  | -            | -   | 5.0  | 基系小石混じり                  | 良好 | 内面:536/灰<br>外面:536/灰<br>断面:5377/2灰白             |                 |
| 15       | 67        | 玄室I層          | 瓶<br>口縁部 | 瓦質土器<br>(粗末)  | -            | -   | -    | 白系系の小石混                  | 良好 | 内面:536/灰<br>外面:536/灰<br>断面:5377/2灰黄             |                 |
| 16       | 77        | 玄室II層         | 瓶        | 土師質土器<br>(確定) | 20.0         | -   | -    | わずかに白石が混入する              | 良好 | 内面:5377/14cm灰<br>外面:5377/14cm灰<br>断面:538/1灰白    | 内外接ナタ調整         |
| 17       | 76        | 玄室I層          | 瓶        | 土師質土器<br>(確定) | 25.0         | -   | -    | 0.5mm程の白石、<br>赤茶石、素目混入   | 良好 | 内面:5377/4cmにい黄<br>外面:5377/4cmにい黄<br>断面:538/1灰白  |                 |
| 18       | 78        | 玄室II層         | 瓶        | 土師質土器<br>(確定) | 26.0         | -   | -    | 1~2mmくらいの白<br>い小石のものもある  |    | 内面:5377/5cmにい黄<br>外面:5377/5cmにい黄<br>断面:538/1灰白  |                 |
| 19       | 75        | 玄室I層          | 要(?)     | 土師質土器         | -            | -   | -    | 赤系小石、2~3mm<br>の白系の小石混入   | 良好 | 内面:5377/4cmにい黄<br>外面:5377/4cmにい黄<br>断面:5377/4cm |                 |
| 20       | 73        | 玄室I層          | 瓶        | 瓦質土器          | 32.0         | -   | -    | 若干白い石混じり                 | 良好 | 内面:5377/14cm白<br>外面:5377/14cm白<br>断面:5377/14cm白 |                 |
| 21       | 72        | II層           | 瓶        | 瓦質土器          | -            | -   | -    | 露目、白石混                   | 良好 | 内面:5377/5cm灰<br>外面:5377/5cm灰<br>断面:5377/5cm灰白   | 内外接ナタ調整         |
| 22       | 71        | II層           | 瓶        | 瓦質土器          | -            | -   | -    | 白石(チャート?)<br>混           | 良好 | 内面:5377/5cm灰<br>外面:5377/5cm灰<br>断面:5377/5cm灰    |                 |
| 23       | 74        | II層           | 瓶        | 瓦質土器          | 25.0<br>(確定) | -   | -    | 白系、黒系の小石<br>混入           | 良好 | 内面:5377/5cm灰<br>外面:5377/5cm灰<br>断面:5377/2灰白     |                 |
| 24       | 79        | サブTR-2<br>II層 | 瓶<br>口縁部 | 須恵器           | 24.0<br>(確定) | -   | -    | 白・赤系色の1mm<br>くらいの小石混     | 良好 | 内面:536/3cm赤褐色<br>外面:536/3cm赤褐色<br>断面:536/3cm    |                 |
| 25       | 80        | II層           | 瓶<br>口縁部 | 須恵器           | 29.0<br>(確定) | -   | -    | 淡赤系、白の小石<br>混            | 良好 | 内面:5375/4cm灰<br>外面:5374/2cm灰<br>断面:536/1灰       |                 |

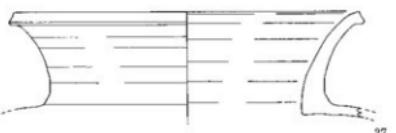
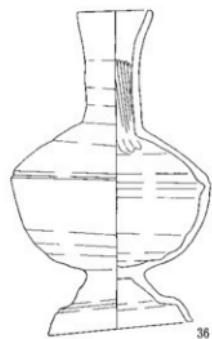


実測図1



0 20cm

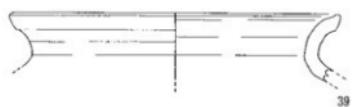
実測図2



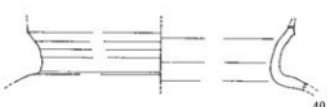
37



38



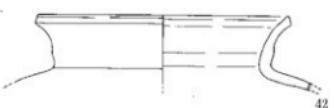
39



40



41



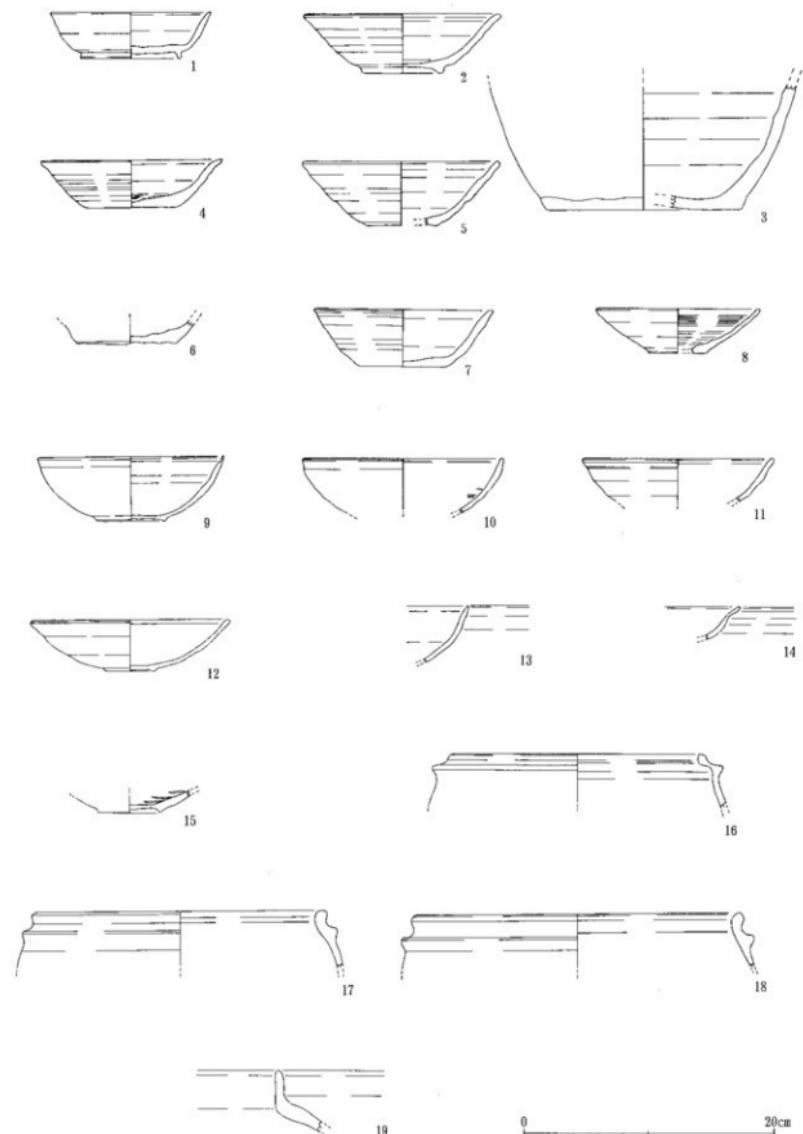
42



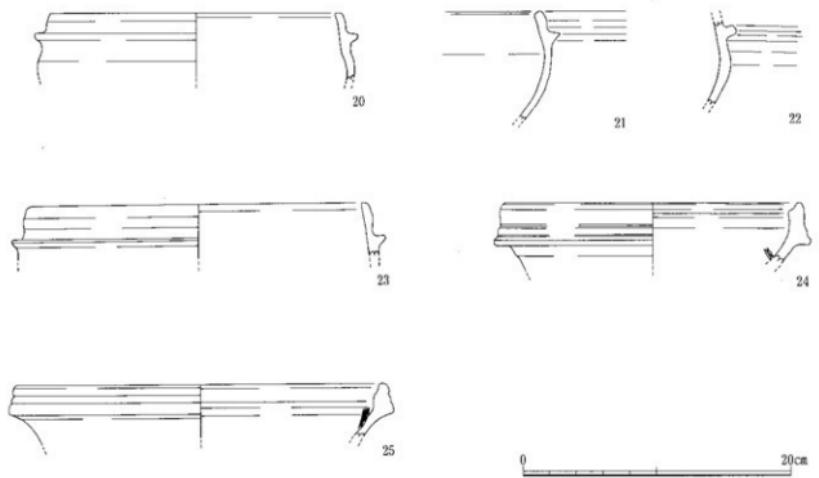
43



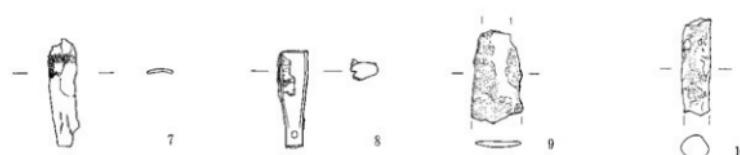
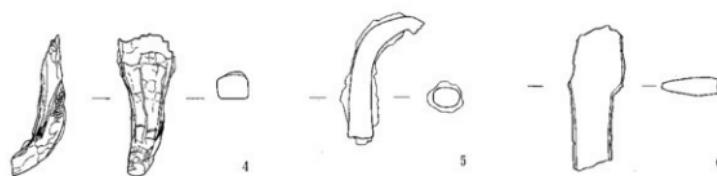
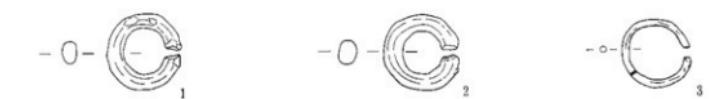
実測図3



実測図4



実測図5



实测图6

## 第Ⅳ章 総括

調査の結果、大正3年の開墾により完全に破壊されてたと考えられた本古墳は玄室及び羨道部分の床面と古墳を取り巻く周溝が確認された。古墳は横穴式石室の構造を持ち、玄室・羨道を含む石室の長さは約8.50m、幅約2.20mで床面からは須恵器片、銀環、金銅製鞘残片、鉄鏃等が出土した。

古墳入り口前庭部からは四つのピットが検出され、その柱穴の四隅内外からは高杯、鍤、台付鍤が出土し、墓前祭祀の跡と考えられる。また石室入り口から浅く延びる溝が前庭部から古墳全体の周りを逆「の」字で古墳の%程度を巡る周溝を備えている。周溝の最大幅5.50m、深さ1.20mで、護岸の法面には葺石は見られない。本古墳はこの周溝を含む東西約32m、南北約28mの円墳であることが確認された。

出土遺物から古墳の年代は6世紀後半から7世紀後半の時期で、数回の追葬がおこなわれたと考えられる。

古墳の石室床面からは古墳時代の遺物以外に中世の土師質土器、備前焼、近世の陶磁器、寛永通宝が出土している。『長宗我拵帳』では当該古墳を「サネモリツカ」(実盛塚)と称しており中世から近世にかけて「実盛塚」として祀られていたと考えられ、中世から近世の遺物はこれに係わる遺物であろう。また古代の遺物は古墳石室の周辺を含む須江上段遺跡に係わる包含層遺物であり、大正時代の開墾時における周辺からの客土層と考えられる。

本古墳は築造当時の処女的状态でなく出土遺物も石室前庭部の周溝より出土した一括遺物以外は原位置の保証はないが石室床面に散在する須恵器片、銀環、金銅製鞘残片、鉄鏃等の僅かながらの遺物であるが幾つか復元できることができた。

本調査から得られた資料より本古墳を考えるに新改川左岸の河岸段丘上の平地部に築造された古墳であるが、その歴史的環境は土佐国でも勝地とも言うべきものである。まず県下有数の規模を誇る新改横走1号古墳と周辺の古墳群を始めとする新改地区の山麓に分布する古墳の密集地帯であり、また古代の須恵器窯を中心とする土佐国最大の窯業生産地であった須江古窯跡群が所在し、隣接の南国市比江には律令制下の土佐国の中心である土佐国府、国分寺を下流域に望む位置にあり本古墳を取り巻く歴史環境は古代の土佐では重要な立地環境と言わざる終えない。

須江ツカアナ古墳、伏原大塚古墳<sup>(1)</sup>、一宮大塚古墳<sup>(2)</sup>、新改横走古墳<sup>(3)</sup>と平地に構築された古墳は土佐でも最大級の古墳であり今後、平地に残る古墳跡等は注意を払って調査研究すべきと考えられる。またその分布は古代の土佐における強力な支配体制を築き上げてきた首長の動向の研究を進める上で重要な資料となる。

### 註

(1)『伏原大塚古墳』(土佐山田町埋蔵文化財調査報告書第14集) 土佐山田町教育委員会 1993

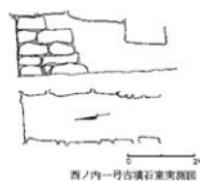
(2)『土佐史談』第157号「土佐神道考古学(6) 神社と古墳」岡本健児 1981

明治初年の記録によると奥行六間、高さ七尺、広さ七~八尺とあり石室の長さが約11mであったことが判り、南国市調豊町所在の小蓮古墳とはほぼ同程度の規模であったと考えられる。出土遺物は蓋部(須恵器)の蓋、矢ノ根(鉄鏃)、鏃(馬鏃)などが出土している。

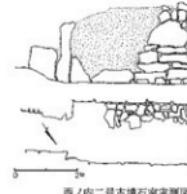
(3)『土佐山田町史』P99~P101 土佐山田町教育委員会 1979

## 附編 新改地区の古墳群

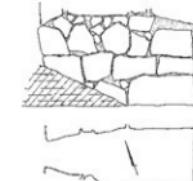
| 番号 | 古墳名        | 古墳の特徴                                 | 出土副葬品   | 時期                | 文 献  |
|----|------------|---------------------------------------|---|-------------------|--|
| 1  | 西ノ内1号古墳    | 円墳 横穴式石室<br>特徴はあまりみられない               | 不明  |                   | 『土佐山田町史』1979 土佐山田町教育委員会                              |
| 2  | 西ノ内2号古墳    | 円墳 横穴式石室 両袖式<br>特徴はあまりみられない           | 須恵器 鉄劍・鉄刀子・石斧・大刀・坐鏡                                       |                   | 『高知県文化財調査報告書』第32号<br>〔高知県美濃土佐山田町西ノ内二号墳古墳調査報告書〕       |
| 3  | 横走古墳       | 大型円墳 石材大型 葦叢丸塗込み 开口部に近い<br>同前 片埋壁特徴なし | 灰毛器 土師器・陶馬具・轆・弦纹・五金具・青銅・矛<br>金具・銀身具・金銀鏡・管玉・丸玉・小玉・骨・鐵刀子・坐鏡 | 6世紀後半~7世紀<br>7世紀末 | 『土佐史跡資料132号』「新改古墳とその遺物」<br>黒田典夫 1972.7               |
| 4  | 横走2号古墳     | 円墳 未調査                                |   |                   | 『土佐山田町史』1979 土佐山田町教育委員会                              |
| 5  | 横走3号古墳     | 円墳 未調査                                |   |                   | 『土佐山田町史』1979 土佐山田町教育委員会                              |
| 6  | 横走4号古墳     | 未調査                                   |   |                   | 『土佐山田町史』1979 土佐山田町教育委員会                              |
| 7  | 椎山1号古墳     | 円墳 横穴式古墳 両袖式                          | 須恵器・銀環・管玉・勾玉・小玉・馬具・鐵鏡                                     | 7世紀前半~7世紀末        | 『土佐山田町史』1979 土佐山田町教育委員会                              |
| 8  | 椎山2号古墳     | 円墳 未調査                                |   |                   | 『土佐山田町史』1979 土佐山田町教育委員会                              |
| 9  | 須江ツカナ古墳    | 円墳 横穴式古墳 片袖式                          | 須恵器・銀環・鉄鏡・馬具・金銅製類   |                   | 『土佐山田町史』1979 土佐山田町教育委員会                              |
| 10 | 上改田龜ヶ谷1号古墳 | 円墳 未調査                                |   |                   | 『土佐史跡』51号「土佐古墳の分布」武志佐市郡135<br>『土佐山田町史』39号 土佐山田町教育委員会 |
| 11 | 上改田龜ヶ谷2号古墳 | 圓錐                                    |   |                   | 『土佐山田町史』1979 土佐山田町教育委員会                              |
| 12 | 上改田古墳      | 円墳 横穴式古墳 両袖式                          | 須恵器   | 7世紀前半             | 『土佐山田町史』1979 土佐山田町教育委員会                              |
| 13 | 上改田火都谷古墳   | 円墳 横穴式石室 7世紀前半                        |   |                   | 『土佐史跡』51号「土佐古墳の分布」武志佐市郡135<br>『土佐山田町史』39号 土佐山田町教育委員会 |
| 14 | 久次西久保古墳    | 円墳 横穴式石室                              |   |                   | 『土佐山田町史』1979 土佐山田町教育委員会                              |
| 15 | 小山田古墳1号古墳  | 未調査                                   |   |                   |  |
| 16 | 小山田古墳2号古墳  | 未調査                                   |   |                   |  |



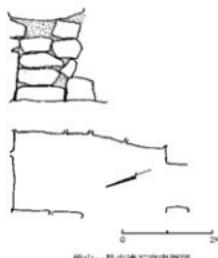
西ノ内一分古墳石室実測図



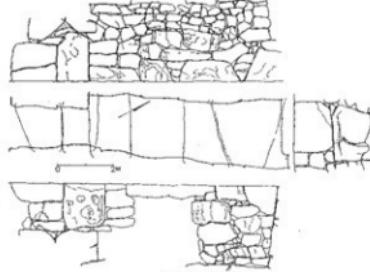
西ノ内二号古墳石室実測図



久次西久保古墳石室実測図



椎山1号古墳石室実測図



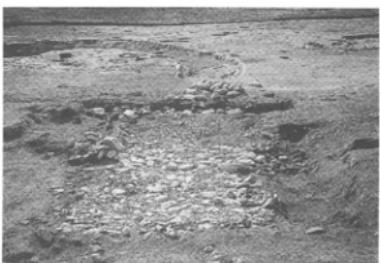
横走古墳石室実測図

図14 新改地区古墳石室実測図

# 写真図版



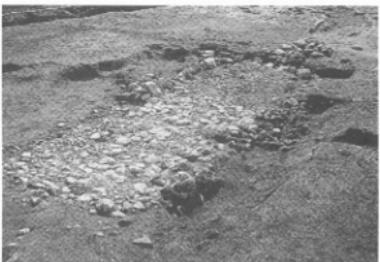
遺構検出状況（北東より）



石室床面完掘状況（北より）



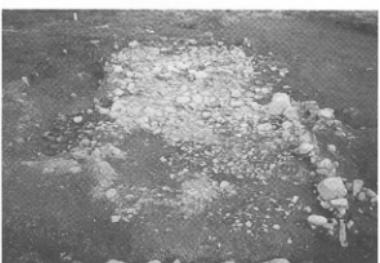
遺構検出状況（北西より）



石室床面完掘状況（北西より）



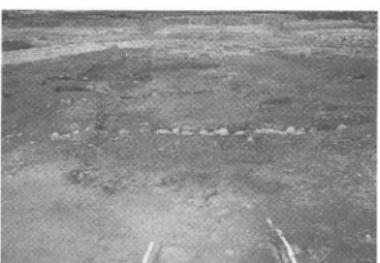
遺構検出状況（南より）



石室床面完掘状況（南より）



遺構検出状況（南より）



石室床面完掘状況（南より）



石室床面完掘状況（南より）



周溝終点部



石室と排水溝  
完掘状況  
(南より)



周溝セクション



排水溝、柱穴完掘状況（南より）



古墳南部柱穴跡（南東より）



周溝底部集石状況（南西より）



古墳南部土坑完掘状況（東より）



古墳全景（西より）



古墳全景（真上より）



遺物出土状況（石室床面）



遺物出土状況（石室床面）



遺物出土状況（石室床面）



遺物出土状況（排水溝）



遺物出土状況（排水溝）



遺物出土状況



遺物出土状況



遺物出土状況



1



2



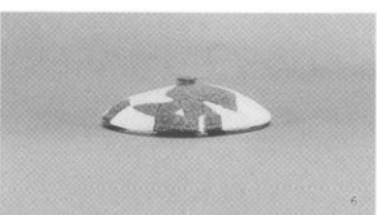
3



4



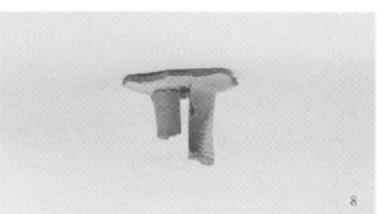
5



6



7



8



9



10

PL-6



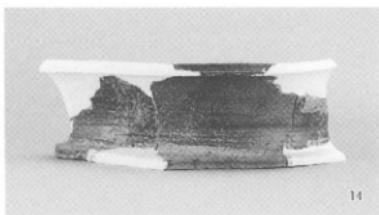
11



12



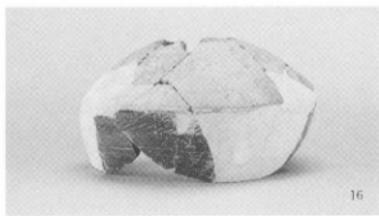
13



14



15



16



17



18



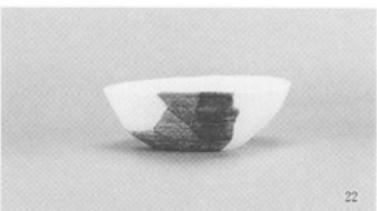
19



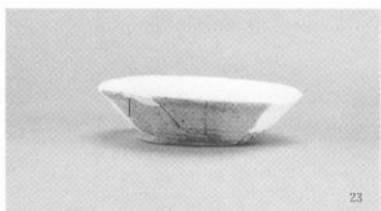
20



21



22



23



24



25



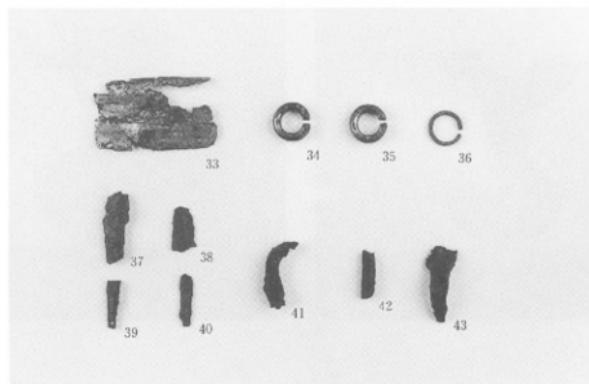
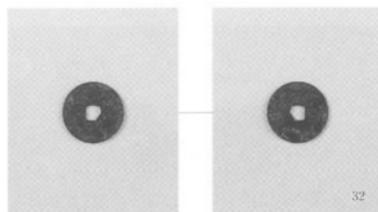
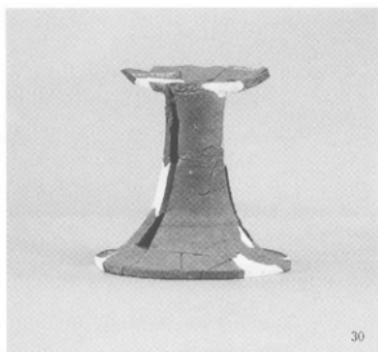
26

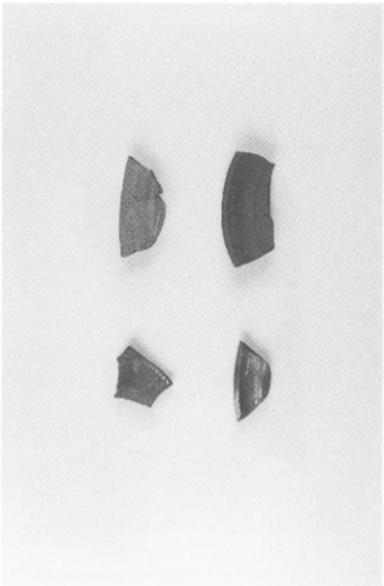
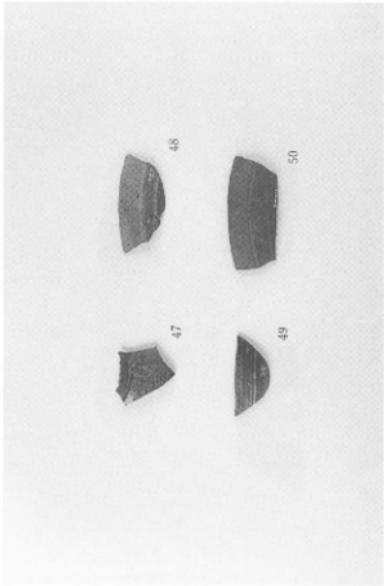
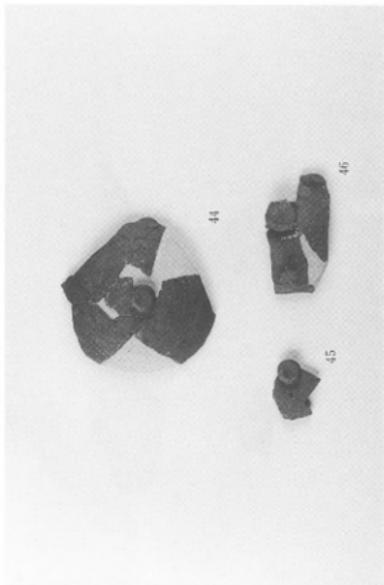


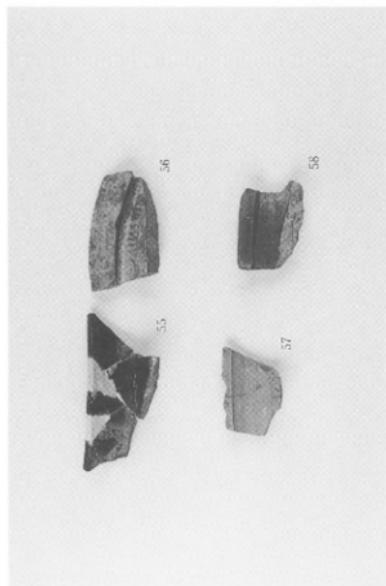
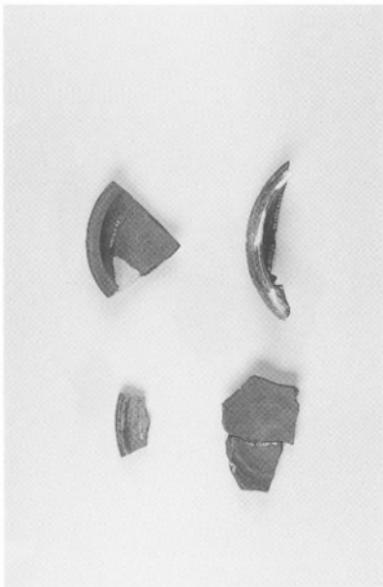
27

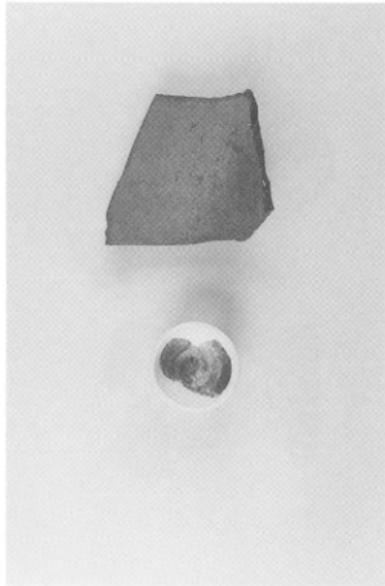
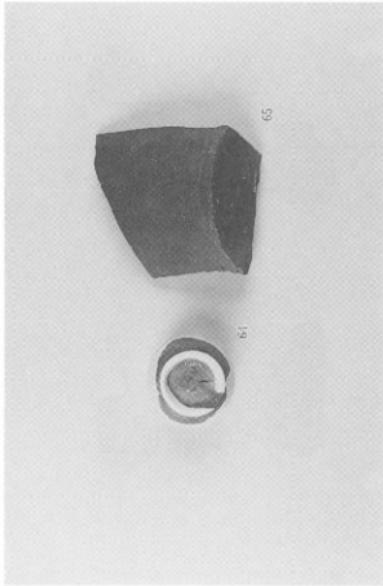
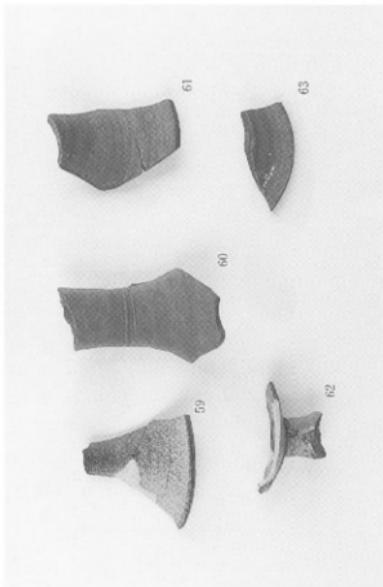


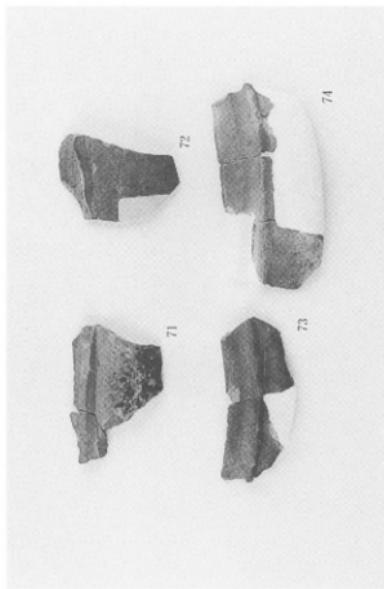
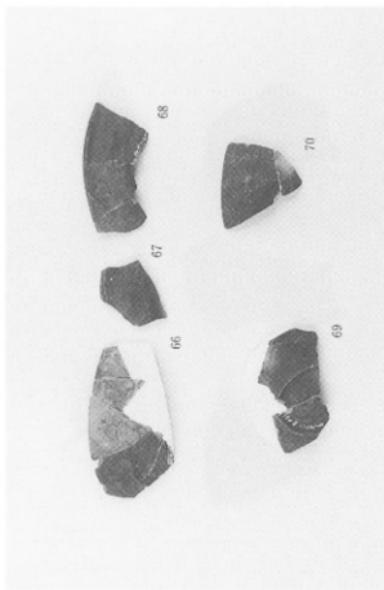
28

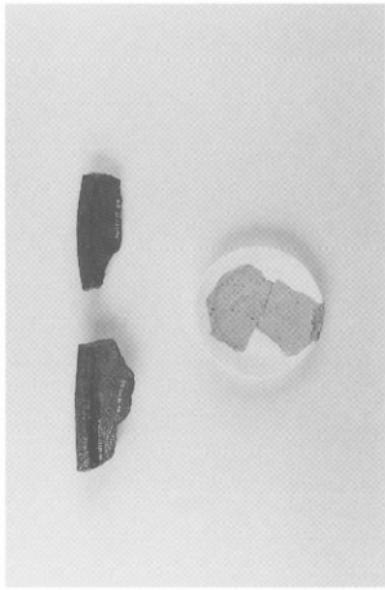
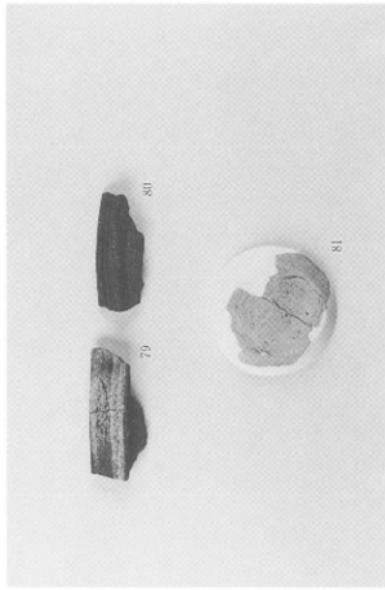
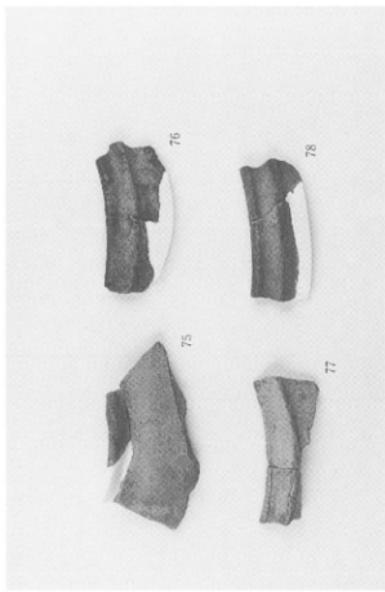












報告書抄録

| ふりがな         | すえつかあんなこふん                                    |        |                  |   |                     |                                  |                     |                                   |
|--------------|---|--------|------------------|---|---------------------|----------------------------------|---------------------|-----------------------------------|
| 書名           | 須江ツカアナ古墳                                      |        |                  |   |                     |                                  |                     |                                   |
| 副書名          | 山田北部地区県営圃場整備事業に伴う発掘調査報告書                      |        |                  |   |                     |                                  |                     |                                   |
| 卷次           | I   |        |                  |   |                     |                                  |                     |                                   |
| シリーズ         | 土佐山田町埋蔵文化財発掘調査報告書                             |        |                  |   |                     |                                  |                     |                                   |
| シリーズ番号       | 第20集  |        |                  |   |                     |                                  |                     |                                   |
| 編著者名         | 中山泰弘  |        |                  |   |                     |                                  |                     |                                   |
| 編集機関         | 土佐山田町教育委員会                                    |        |                  |   |                     |                                  |                     |                                   |
| 所在地          | 〒782-0017 高知県香美郡土佐山田町岩積365-1 TEL(0887)53-3111 |        |                  |   |                     |                                  |                     |                                   |
| 発行年月日        | 西暦2002年7月31日                                  |        |                  |   |                     |                                  |                     |                                   |
| ふりかな<br>所取遺跡 | ふりがな<br>所在地                                   | コード    |                  | 北緯  | 東経                  | 調査期間                             | 調査面積                | 調査原因                              |
|              |   | 市町村    | 遺跡番号             |   |                     |                                  |                     |                                   |
| 須江ツカアナ<br>古墳 | 高知県香美郡<br>土佐山田町<br>須江字五反地<br>1049             | 393231 | 190071           | 33°<br>37'<br>299"  | 133°<br>40'<br>467" | 発掘調査<br>1994.12.12<br>1995.01.23 | 1,400m <sup>2</sup> | 山田北部地区<br>県営圃場整備<br>事業に伴う<br>発掘調査 |
| 所取遺跡名        | 種別  | 主な時代   | 主な遺構             | 主な遺物  |                     | 特記事項                             |                     |                                   |
| 須江ツカアナ<br>古墳 | 古墳  | 古墳     | 玄室・羨道・周溝・<br>ピット | 須恵器、土師器、土<br>師質土器、瓦器、瓦<br>質土器、備前焼、馬<br>具、鉄鎌、耳環、金<br>銅製鞘残片 |                     | 高知県下でも有数の<br>規模を持つ古墳（円<br>墳）     |                     |                                   |

## 須江ツカアナ古墳

山田北部地区県営墓場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2002年7月31日

編集・発行 高知県土佐山田町教育委員会  
高知県香美郡土佐山田町岩積365-1  
電話 (0887)53-3111 (代)

印刷 川北印刷株式会社